

# 重春ゆめづくりプラン

〔重春地区まちづくり計画〕

平成20年（2008年）1月

重春ゆめづくり委員会

西脇市長 來住 壽一 様

重春ゆめづくり委員会  
委員長 藤原悦男

重春ゆめづくり委員会は、平成18年7月31日、重春地区のまちづくり計画の策定を目的に、地区区長会をはじめ、各種団体、企業、学校園等の代表が集って活動をスタートさせました。

およそ1年半にわたる取り組みにおいては、ワークショップを重ねながら、時には、タウンウォッチングを行い、実際に自分たちの目で地区の特性や課題などの確認を行い計画づくりに反映させていきました。

また、平成19年6月には地区住民 1,000名を対象にアンケート調査を実施し、様々なご意見・ご提案をいただきました。

『重春ゆめづくりプラン（重春地区まちづくり計画）』の策定においては、14回にわたるワークショップを通じて、地区の課題や資源を整理し、それらをもとにして重春地区の将来像を構想することで、地区に住まう住民の視点から、地区のまちづくりの方向性や基本目標、取り組み内容を展望してみました。

特に、率先して取り組む課題については、『リーディングプロジェクト』として7つの取り組みを掲げています。

この計画書は、地区の住民の手づくりのまちづくり計画書です。しかし、計画書づくりが最終目的ではありません。次世代にまちの良さを引き継ぎながら、重春地区の住民すべてが誇りに思えるまちづくりのために、この計画書を膨らませていければと思っています。

私たち住民が手と手を携えて、自主的・自立的にまちづくりの輪を広げていければと思っています。

# — 目 次 contents —

Page

## 序 基本的な事項

1. 地区まちづくり計画の策定について ----- 1
2. 重春地区まちづくり計画の検討対象範囲 ----- 3

## 第1章 重春地区の現状と問題点・課題

1. 重春地区のまちの現状 ----- 4
2. 重春地区のまちの問題点・課題 ----- 10

## 第2章 地域住民アンケート調査の結果

1. アンケート調査の概要 ----- 17
2. アンケート調査の結果 ----- 17

## 第3章 重春地区の将来像とまちづくりの基本目標

1. 重春地区のまちづくりの将来像 ----- 37
2. まちづくりの基本目標 ----- 38

## 第4章 まちづくりの取り組み内容とその進め方

1. まちづくりの取り組み内容 ----- 40
2. まちづくりの役割と取り組み時期 ----- 44
3. 率先して取り組む内容（リーディングプロジェクト） ----- 51

## 第5章 今後の重春のまちづくりに向けて

1. 推進体制づくり ----- 54
2. 全ての主体の参画と協働によるまちづくりを実現するために ----- 54

# 序 基本的な事項

## 1. 地区まちづくり計画の策定について

### (1) 地区まちづくり計画策定の背景と目的

西脇市では、市民と行政が一緒になって、それぞれの役割を分担しながら、住み良いまちづくりを進めていく「市民主役のふるさと運営」を推進しており、その取り組みのひとつとして、市内各地区のまちづくり計画を策定することとしています。

地区ごとのまちづくり計画を住民が主体となって作成することにより、自分たちの生活圏である身近な地区の課題を解決し、地区住民のニーズに応じたきめ細やかなまちづくりを推進することとしています。

そこで、重春地区においても地区まちづくり計画の策定をめざして、平成18年7月に、地区区長会をはじめ、各種団体、企業、学校園等の代表41名が集まって「重春ゆめづくり委員会」を設置し、計画の検討を進めることとしました。

### (2) 重春地区まちづくり計画策定の手順

重春地区まちづくり計画の策定にあたっては、重春ゆめづくり委員会において、(財)ひょうごまちづくり技術センターのアドバイザー派遣等の支援を受け、平成18、19年度の2カ年にわたって、ほぼ毎月1回のペースで合計14回のワークショップを重ねながら検討してきました。重春ゆめづくり委員会では、概ね次のようなプログラムでワークショップを実施しました。

第1回  
(平成18年  
7月31日)

**「地域みんなでまちづくりについて語ろう！」**  
地域住民がまちづくりについて、どのような想いを持っているのか、何が問題なのかを語り合う。

第2回  
(平成18年  
8月22日)

**「まちづくりとは・・・様々な取り組みを見てみよう！」**  
各地で実践されている住民主体のまちづくりについて、事例を見ながら確認する。自分たちにはどんなことができるのかを語り合う。

第3回  
(平成18年  
9月22日)

**「地域の現状や問題を確認してみよう！」**  
まちづくりの推進に向け、地域の現状と問題を、みんなで確認し、共有する。

第4回  
(平成18年  
10月24日)

**「重春地区の将来像を考えてみよう！」**  
重春地区がめざす将来の姿、みんなが住みたいなあと思う重春地区のイメージを言葉で表現する。

第5回  
(平成18年  
11月24日)

**「将来像の実現に向けた取り組みを考えてみよう！-その1」**  
現状や問題点を見ながら、住みよいまちにしていくために、将来像を実現するために進めるべき事、みんなでできる事を考える。

第6回  
(平成 18 年  
12 月 14 日)

**「将来像の実現に向けた取り組みを考えてみよう！-その2」**  
住みよいまちにしていくために、将来像を実現するために進めるべき事、みんなのできる事について、どこで、いつ行うのかを考える。

第7回  
(平成 19 年  
2 月 1 日)

**「まちを再認識するためのタウンウォッチングを企画する！」**  
まちを再認識するために実施する「タウンウォッチング」の実施に向け、コースや確認事項について考え、企画する。

第8回  
(平成 19 年  
3 月 8 日)

**「1年間の考えてきた成果を発表しよう！」**  
平成 18 年度、みんなで考えてきた成果を発表する。  
そして、次年度掘り下げて検討すべき事項を確認しておく。

第9回  
(平成 19 年  
4 月 22 日)

**「地域の現状や問題を再確認してみよう！-まちを歩いてみよう」**  
まちづくりの推進に向け、地域の現状と問題を、実際にフィールドに出て確認する。フィールドで確認した結果を改めて整理し、みんなで共有する。  
(2班に分かれて、まち歩きを実施)

第10回  
(平成 19 年  
5 月 30 日)

**「住民のみんなに、重春の将来について聞いてみよう！」**  
地域住民へまちづくりに関する意向を確認するためのアンケート調査項目・内容を考える。

—アンケート調査の実施—  
6月中旬頃を目処に、住民 1,000 名へアンケート調査票を配布。  
回収期限は2週間程度（6月末には回収完了）。  
回収後、入力・集計し、結果をとりまとめ、会議に反映。

第11回  
(平成 19 年  
6 月 25 日)

**「重春のまちづくりの将来像と基本的な方向性を固めよう！」**  
重春のまちづくり（ゆめづくり）の将来像と基本的な方向性を、平成 18 年度の検討結果をもとに固める。

第12回  
(平成 19 年  
7 月 25 日)

**「重春のまちづくりの基本方針・目標を固めよう！」**  
重春のまちづくり（ゆめづくり）の基本方針・基本目標を、平成 18 年度の検討結果をもとに固める。

第13回  
(平成 19 年  
10 月 23 日)

**「まちづくりの取り組み内容を固めよう！」**  
重春のまちづくり（ゆめづくり）の取り組み内容を、平成 18 年度の検討結果及びアンケート結果をもとに固める（基本目標別）。基本目標別のグループに分かれて検討。  
さらに取り組み内容について、役割分担（地域・行政・協働＝自助・公助・共助）や実施時期（緊急性、短期・中期・長期等）について固める。

－まちづくり計画素案とりまとめ－

これまでの検討結果を、まちづくり計画（計画書）素案としてとりまとめる。素案作成後、重春ゆめづくり委員会委員へ配布し、内容の最終確認を実施する。その後、意見を受けた計画素案の加筆・修正を行い、計画案を確定する。

第14回  
(平成19年  
11月29日)

『(仮称)重春ゆめづくりプランを確認しよう!』

およそ1年半にわたって議論してきた結果である「まちづくり計画」=『(仮称)重春ゆめづくりプラン』を確認する。

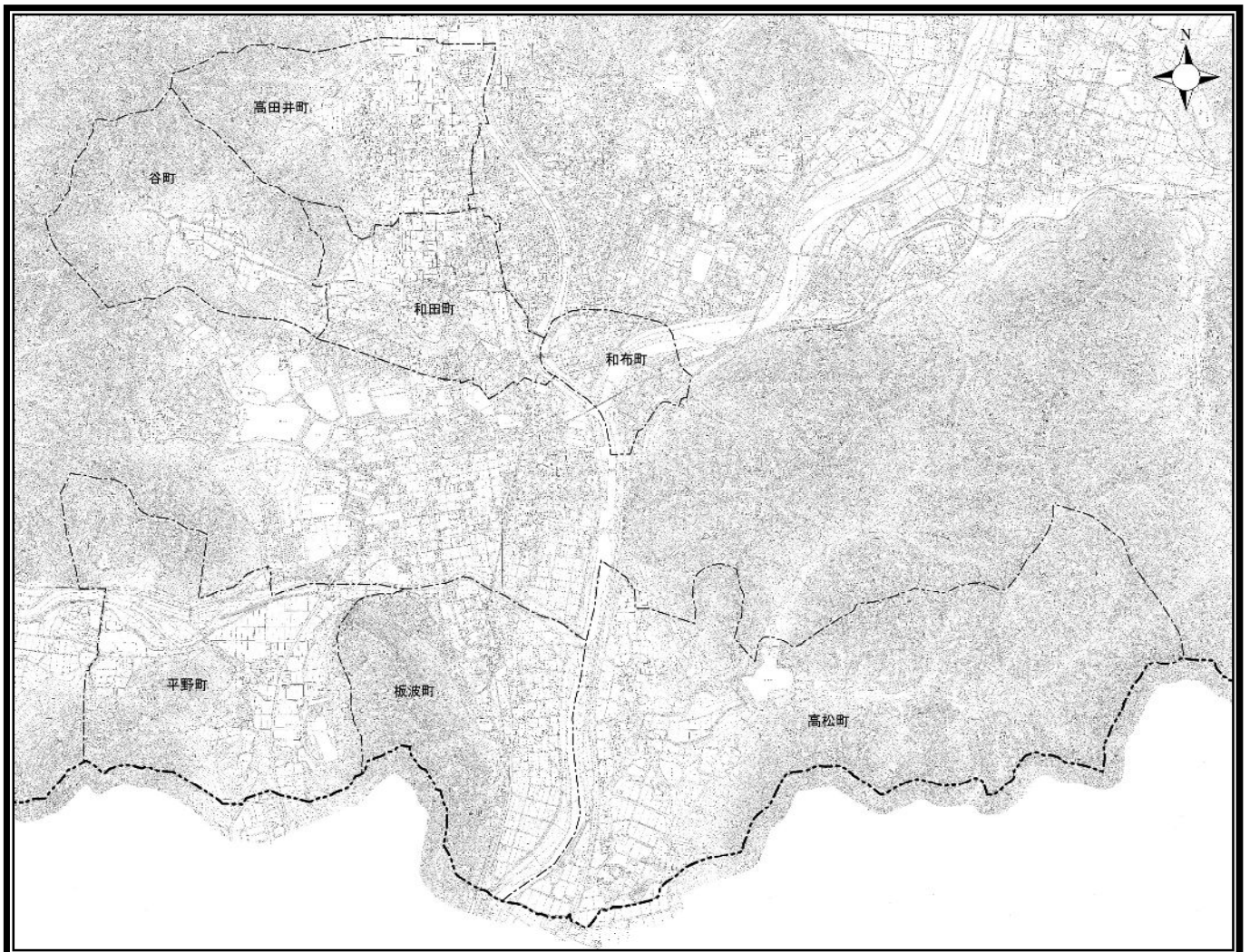
－まちづくり計画案住民説明会の開催（平成19年12月20日）－

重春ゆめづくり委員会でとりまとめた重春地区のまちづくり計画書「重春ゆめづくりプラン案」を重春地区住民に説明する。

併せて、計画策定後の実践や推進組織について、住民へ周知する。

## 2. 重春地区まちづくり計画の検討対象範囲

重春地区のまちづくり計画は、和布町、高松町、板波町、平野町、谷町、和田町、高田井町の7町を対象に検討しました。



# 第1章 重春地区の現状と問題点・課題

## 1. 重春地区のまちの現状

重春ゆめづくり委員会ではこれまで、会議（ワークショップ）やタウンウォッチングの中で、地域の現状について、生活環境、自然環境、産業・雇用、歴史・文化、社会・コミュニティ・教育、福祉の6つの視点に分け、それぞれハード面、ソフト面から意見を出し合い、共有してきました。

### （1）生活環境

#### ①道 路

	ハード面	ソフト面
良い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重春地区の特徴である河川、国道（175号）が平行して走っている</li> <li>・通学路が整備され安全である</li> <li>・ふれあいロードは素晴らしい道</li> <li>・自然遊歩道が整備されて環境がとても良い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の中の道にはほとんどゴミが落ちていない</li> </ul>
悪い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南北に道路が少ない</li> <li>・町内の道路が狭い、町内の狭い道路の交通量が多く安全面が心配</li> <li>・重国橋はナビに記されているが実際は車で通れない休日間違って進入する車が多く困る</li> <li>・朝の通勤時、交通渋滞</li> <li>・交通量が多く町が分断されやすい</li> <li>・高田井町中央部の朝夕の交通量が多く、通学が危険</li> <li>・保育所の角が危ない</li> <li>・通学路の歩道がない</li> <li>・県道に歩道がなく通学等が危険</li> <li>・交通安全に向けた歩道</li> <li>・マイクロンジャパン入口、朝夕各1時間ほど混雑</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路わきのゴミが多い</li> <li>・主要道路の脇にゴミがたくさん落ちている</li> </ul>

#### ②河 川

	ハード面	ソフト面
良い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高松町には美しい河川がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・杉原川の流れがきれいになった</li> </ul>
悪い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水しやすい場所がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和田町たいこ弁当周辺は、山間部からの雨水が溜まり、水はけも悪い</li> <li>・今、加古川～野間川間の改修が進められているが、その後の堤防の景観をどう守っていくのか、住民が力を合わせていかなければ出来ないと思われる</li> <li>・草だらけで支流の河川の管理ができていない</li> </ul>

③上下水道

	ハード面	ソフト面
良い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道が完備して環境が良い</li> <li>・集落排水が整備されきれいな水である</li> </ul>	
悪い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和布町内の下水道設備（宅内）が十分ではない</li> </ul>	

④交通

	ハード面	ソフト面
良い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活基盤は充実している</li> <li>・大阪、神戸への交通の便が良い</li> </ul>	
悪い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸からの交通アクセスが良くない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR加古川線の便数が少ない</li> </ul>

⑤公共施設

	ハード面	ソフト面
良い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミセン予定地景観良好、道路良</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミセン建設予定地はアクセス、見晴らし、環境が良い</li> </ul>
悪い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にコミュニティ施設、活動拠がない</li> <li>・地区の拠点施設を建てても利用者が少ないのではないか</li> <li>・大きな公園がない</li> <li>・高田井町にはまとまった広さの運動場がない</li> <li>・高田井町のミニ里山公園に期待している</li> <li>・市役所が遠い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板波公民館の案内図がないように思う</li> <li>・職業訓練センター上の公園、あることも知らなかった</li> <li>・職業訓練センターそばのテニスコートがあるのをはじめて知った</li> <li>・経ヶ芝古墳、案内板が消えかけている 駐車場からの案内図がない</li> </ul>

⑥その他

	ハード面	ソフト面
良い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板波町、高松町、平野町は高田井町と違い、家々の間隔がそこそこ広く住みやすい感じがした 子どもの背丈からしても見通しが良さそうな気がした</li> </ul>	
悪い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に恵まれていながら、その整備が進んでいない</li> <li>・旭ヶ丘住宅の建替え（現在老朽化がすすみ、現地での建替えは無理）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活基盤の充実と農業振興のギャップをどう考えるか</li> <li>・重春地区はドーナツ型の地形である</li> <li>・まちのイメージが変わらないように</li> <li>・まちと田舎の差が明確に分かれている</li> <li>・まちの特徴がない</li> <li>・南に開けている</li> <li>・地区の中心が野村地区になっている</li> </ul>

(2) 自然環境

①河川

	ハード面	ソフト面
良い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加古川の堤防も美しく、ホタルが飛びかうまち</li> <li>・野村橋から加東市境界まで河川改修がなされ、全く違った環境になった 変われば変わるものだ</li> <li>・いつも豊富なきれいな水が流れている</li> <li>・加古川、杉原川、野間川の三河川に囲まれた美しい地区である</li> <li>・河川の水がきれい</li> <li>・きれいな池の水</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初夏の川にはホタルが飛ぶ</li> </ul>
悪い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野間川の姫滝がなくなった</li> </ul>	

②山林

	ハード面	ソフト面
良い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の奥の山は山桜がいっぱい咲いて美しい</li> <li>・矢筈山を中心とした自然がいっぱいである</li> </ul>	
悪い点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿が多い</li> </ul>

③農地

	ハード面	ソフト面
良い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の半分以上が稲作農地なので景観が大変良い</li> <li>・田園の緑の景観の美しさ</li> <li>・農地が守られている</li> </ul>	
悪い点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地の畦などで犬の糞などが処理できていない</li> </ul>

④その他全般

	ハード面	ソフト面
良い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑が多い</li> <li>・自然が豊かである</li> <li>・山、川があり美しい、景観が良い</li> <li>・緑が多く空気がきれい</li> <li>・花がいっぱい（高田井町老人会）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茜ヶ丘は、見晴らしもよく、良い場所</li> </ul>
悪い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高田井町周辺では車の排気ガスが多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野良猫が多い</li> <li>・地域で自然を管理しようとする意識が弱くなっている</li> <li>・茜ヶ丘には、野鳥がいるようだが今後はどうなってしまうのか？</li> <li>・金城池、ゴミの不法投棄</li> </ul>

(3) 産業・雇用

①農業

	ハード面	ソフト面
良い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休耕田対策で土地の有効利用ができつつある</li> <li>・休耕地があり土地利用の可能性はある</li> </ul>	
悪い点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化による農地の荒廃が進むと思われる</li> <li>・谷町は面積の約半分が農地であり、調整区域になっていて中途半端 法律の改正を考えていただきたい</li> <li>・農業の後継者がいないので、先では農地が荒れてきて自然が破壊される恐れがある</li> </ul>

②商業

	ハード面	ソフト面
良い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高田井町、和田町にはいろいろな店舗や商業施設が多い</li> <li>・高田井町の近くには店舗が多くあって買い物が便利</li> <li>・スーパー、コンビニ、量販店が近くにあり買い物が便利である</li> <li>・街が近くにあり買い物に便利である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物に便利</li> </ul>
悪い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーマーケットが多すぎる</li> <li>・パチンコ店が多すぎる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の買い物が不便</li> <li>・日常の買い物を他の地域でする</li> </ul>

③その他

	ハード面	ソフト面
悪い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通、土地の面から企業立地が困難</li> <li>・産業が少ない</li> <li>・織物工場が少なくなり活気がない</li> <li>・地場産業の停滞によりまちに活気がない</li> <li>・産業振興は十分とはいえない</li> <li>・地場産業に将来性はあるのか？</li> <li>・産業の特色が薄い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の産業は若い人には魅力がないのではないか</li> <li>・若者の働く場所が少ない</li> <li>・何を特産品とするのか</li> </ul>

(4) 歴史・文化

①史跡

	ハード面	ソフト面
良い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的施設が多い</li> <li>・長明寺付近の景観が良い</li> <li>・高松のお寺が良い</li> <li>・長明寺周辺が整備され大変落ち着いてきれいである</li> <li>・高松町は頼政公ゆかりの里</li> </ul>	

②伝 統

	ハード面	ソフト面
良 い 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あばれ太鼓などのまつりがある</li> <li>・春日神社(高田井町・和田町・谷町)での秋まつりのあばれ太鼓(高田井町・和田町)</li> <li>・秋まつりがある      ・まつりがにぎやか</li> <li>・高松町の頼政祭      ・祭りの伝統行事が続いている</li> <li>・秋祭りには伝統のバラエティがある</li> <li>・カナシ口焼(釜跡)      ・長明寺鶴伝説</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祭りの太鼓の練習参加者数が少数だが熱意を持ってがんばっている</li> <li>・地域に祭があり盛り上げようとしている</li> </ul>
悪 い 点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・重春地区の成り立ちを知らない人が多い</li> </ul>

(5) 社会・コミュニティ・教育

①参画・ボランティア

	ハード面	ソフト面
良 い 点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動が優れている</li> </ul>
悪 い 点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本委員会の中に若者がいないことは問題ではないか？</li> </ul>

②人材育成

	ハード面	ソフト面
良 い 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業の技術的な蓄積がある(ピックアップする必要がある)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花づくりの人材が豊か</li> <li>・おだやかな人が多い</li> </ul>
悪 い 点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳心に欠ける人がいる</li> </ul>

③安全・安心・コミュニティ

	ハード面	ソフト面
良い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学が便利</li> <li>・通学路に防犯灯が多く設置され安全である</li> <li>・公民館を中心に結構コミュニティがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの町に特徴があり、多様性がある</li> <li>・集落の和が感じられる、重春地区としてのまとまりがある</li> <li>・一人ひとりに温かさがある、のんびりした感じがある、穏やかな気風</li> <li>・ちょっとしたお節介も大切だと思います</li> </ul>
悪い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川があるため水害にあいやすい</li> <li>・しばざくら通りの南へ降りてきた板波町内の道路は、中学校の通学路だが街灯がなく暗くて危険</li> <li>・お店の人と話しが出来る駄菓子屋が少なくなった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人と人とのふれあい交流が悪い</li> <li>・昔に比べて「わが町意識」が薄れつつある</li> </ul>

④学校・教育

	ハード面	ソフト面
良い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保、幼、小、中、高など教育施設が集積している</li> <li>・県立高校が近くに2つある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園、小中学校間の交流がある</li> </ul>
悪い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区が分断されている</li> </ul>	

(6) 福祉

①高齢化

	ハード面	ソフト面
悪い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平均年齢が高い</li> <li>・高齢者にとって不慣れた場所と便利な場所が二分している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化が進んでいる</li> <li>・高齢者世帯が多くなってきている</li> </ul>

②少子化

	ハード面	ソフト面
悪い点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化により人口が減少</li> </ul>

## 2. 重春地区のまちの問題点・課題

地域の現状把握の結果をもとに、6つの視点から問題点・課題を整理した結果は、以下のとおりです。

### (1) 生活環境

#### 道路に関する問題点・課題

ハード面での問題点・課題	ソフト面での問題点・課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地の確保</li> <li>・道が狭く未整備</li> <li>・区画整理が必要</li> <li>・道路等の基盤の充実</li> <li>・美しい道路の整備</li> <li>・市道・生活道路の整備</li> <li>・都市計画道路の見直し</li> <li>・平野から高田井への道路整備</li> <li>・交差点の道路整備</li> <li>・アピカから西脇大橋への道路整備（歩道の道路化）</li> <li>・歩道をすべてつなぐ（統一化）、広い歩道</li> <li>・歩道を色分けして歩いてみたい道にする</li> <li>・散歩、ランニング専用道の設置</li> <li>・やすらぎの道整備</li> <li>・交通安全に向けた歩道</li> <li>・電灯を青色に</li> <li>・信号機の設置</li> <li>・マイクロンジャパン入口信号機設置</li> <li>・マイクロンジャパン交差点、右折車線確保が望ましい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路(歩道)周辺の美化、花植え等</li> </ul>

#### 河川に関する問題点・課題

ハード面での問題点・課題	ソフト面での問題点・課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川の遊歩道整備</li> <li>・台風 23 号で水害を受けた加古川の河川改修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上流から流れて来た水を田畑や防火用水だけでなく他に利用できないか</li> <li>・河川の雑木は何かならないか</li> <li>・河川整備ができているので何かに活用できないか</li> </ul>

#### 上下水道に関する問題点・課題

ハード面での問題点・課題	ソフト面での問題点・課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・和布町内の下水道設備（宅内）の完備を願う</li> </ul>	

#### 交通に関する問題点・課題

ハード面での問題点・課題	ソフト面での問題点・課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気機関車の走る町の創出</li> <li>・交通基盤の整備</li> <li>・神戸からの交通アクセス強化</li> </ul>	

公共施設に関する問題点・課題

ハード面での問題点・課題	ソフト面での問題点・課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミセンの早期完成を望む 駐車場を十分に確保</li> <li>・お年寄りの集合できる場所（建物）、コミュニケーション場所</li> <li>・文化センターの建設（子どもと成人、高齢者が集える交流施設の整備）</li> <li>・高齢者と子どもがともに遊べる場所</li> <li>・重春地区内の多目的ホールの建設</li> <li>・図書館などの文化施設の充実</li> <li>・子どもの遊び場、広場・遊具がなくても良い</li> <li>・古い建物を残していきたい</li> <li>・古くなった市営住宅の整備が必要</li> <li>・ゲートボールなどができる地区の運動場の整備</li> <li>・テニスコート以外の施設を作る</li> <li>・街なかには第3セクター的は施設が多すぎるのでスリムにしてい くにはどうすれば良いのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道具、運動具の整備</li> <li>・ふれあいの場の確保として、公民館をもっと利用できればいいと思う</li> <li>・お年寄りが気軽に集まっておしゃべりしたり、小さい子どもを持つお母さんが集まったりできればよい</li> <li>・公園の管理、有効利用</li> <li>・コミセンの必要性、用途、目的</li> <li>・コミセン建設予定地はアクセス、見晴らし、環境が良い 規模と使い方は今後の住民の問題</li> <li>・案内板などが必要</li> </ul>

その他の問題点・課題

ハード面での問題点・課題	ソフト面での問題点・課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に恵まれていながら、その整備が進んでいない</li> <li>・美しいまちの環境整備を</li> <li>・きれいな町並み</li> <li>・旭ヶ丘住宅の建替え（現在老朽化が進み、現地での建替えは無理であり、新たな住宅用地の確保が必要である）</li> <li>・地域の特徴を生かしながら、今後、整備しそれを有効に多くの人が利用する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あるもの、誇れるもの、すてきなものを整理して新しい個性に磨きをかける</li> <li>・山、川をテーマに地域住民の心豊かなまちづくり</li> <li>・生活基盤の充実と農業振興のギャップをどう考えるか</li> <li>・生活環境を保全する為に街灯を設置する（防犯、気持ちを穏やかにする色使用）</li> <li>・災害に強い安心安全のまちづくり</li> <li>・水害対策としてゴムボートを各町に整備</li> <li>・ベンチ設置 ・ケーブルテレビ（有線） ・地元住民の協力が必要</li> <li>・西脇市の南の玄関口にふさわしいものにする</li> <li>・まちづくりは新たな風土づくり ・地区の特色を生かすまちづくり</li> <li>・まちのイメージが変わらないように</li> </ul>

(2) 自然環境

河川環境に関する問題点・課題

ハード面での問題点・課題	ソフト面での問題点・課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修された堤防に、住民が寄りつきやすい環境づくりをしてみたい</li> <li>・加古川、野間川の堤防保全について</li> <li>・水系を新たに見直す</li> <li>・谷川の水辺環境の保全</li> <li>・河川の広場づくり、釣り広場等の整備</li> <li>・加古川河川敷公園整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加古川堤防の管理を地元で行う</li> <li>・小さな川の清掃活動を小さな集まりから始める</li> <li>・河川的环境整備、草刈等</li> <li>・河川堤防の利用 花を植える、作物を作る</li> <li>・川沿いに桜並木を</li> </ul>

■第1章 重春地区の現状と問題点・課題

山林・里山に関する問題点・課題

ハード面での問題点・課題	ソフト面での問題点・課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山、森林の保全</li> <li>・植樹（桜）する ・萩が瀬の桜を復活させる</li> <li>・重春地区のハイキング道路の整備</li> <li>・「自然を守り・育む」子どもを自然の中に取り込む為に里山の整備</li> <li>・トレッキングコースの選定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山を三世代等で散策ができるようにする</li> </ul>

田園環境に関する問題点・課題

ハード面での問題点・課題	ソフト面での問題点・課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地と森林を一体化させて自然を守る</li> <li>・田園の雰囲気、保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休耕田で草が伸び放題という場所があるので、コスモス畑とか、ひまわり畑などになればいいと思う</li> <li>・休耕田の利用 ・休耕田にシバザクラ</li> </ul>

その他の問題点・課題

ハード面での問題点・課題	ソフト面での問題点・課題
/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田園の整備と環境を大切にすまち ・リサイクル率日本一の地区</li> <li>・里山を中心とした周辺の環境をもっと生かす</li> <li>・緑化で CO2 対策 環境ビジネスの創造</li> <li>・金城池、ゴミの不法投棄 ・ゴミの有料化が不法投棄の拡大につながる</li> </ul>

(3) 産業・雇用

農業に関する問題点・課題

ハード面での問題点・課題	ソフト面での問題点・課題
/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコ農法（有機農法）の活用</li> <li>・メロンづくりの推進</li> <li>・若者の農業者を育成し、補助する組織</li> <li>・営農の補助ができる地域をつくる</li> <li>・田空での登録による情報発信</li> <li>・休耕田をいかした町</li> <li>・特産品（西脇メロン）の普及、新規農家への支援</li> <li>・他市町と交流できる農業の仕掛け作り（農作物の特徴を生かす）</li> <li>・西脇の特産品（メロン他）</li> <li>・農業の担い手の確保</li> <li>・農業組織の育成</li> <li>・販売体系の再検討</li> <li>・農地の有効的利用</li> </ul>

その他の問題点・課題

ハード面での問題点・課題	ソフト面での問題点・課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地場産業に将来性はあるのか？</li> <li>・新たな産業の導入 織物だけではなく、他の産業を誘致する</li> <li>・地方に適切な産業の再検討</li> <li>・企業誘致</li> <li>・新規の産業の誘致</li> <li>・産業立地基盤の整備を推進すべき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の働く場の確保</li> <li>・地域のレベルアップを図る（技術の習得）</li> <li>・特産品の育成（パッチワーク、ハンカチ等）</li> <li>・何を特産品とするのか</li> <li>・市内居住者を優先的に雇用</li> <li>・空き地や空き家を利用したチャレンジショップ（1坪〜）を行う</li> </ul>

(4) 歴史・文化

史跡等の地域資源に関する問題点・課題

ハード面での問題点・課題	ソフト面での問題点・課題
・遊歩道整備	

伝統文化に関する問題点・課題

ハード面での問題点・課題	ソフト面での問題点・課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭や発表会といった発表する場所の確保</li> <li>・織物博物館の建設（工場跡を再利用も可）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祭り（伝統）への若者の参加増大</li> <li>・文化の推進（若い人の育成）</li> <li>・伝統文化を継承する指導的な人材の確保、伝統</li> <li>・観光資源、歴史のPR、もっと地域の文化</li> <li>・地区伝統行事を交流の場として活用していく</li> <li>・伝統行事の継承と掘り起こし、いろいろなイベントの企画と実施</li> <li>・地区が一体となって盆踊り（旧重春小のグラウンドと駐車場利用）</li> <li>・合同体育祭、文化祭の実施</li> <li>・地区の交流事業文化祭等</li> <li>・各町における各種団体の相互交流</li> <li>・祭り等の再検討</li> <li>・誇りに思える伝統文化を育てる（祭り等）</li> <li>・あばれ太鼓（春日神社）を田空に登録、伝統行事の継承</li> <li>・長明寺の頼政祭りの活性化を</li> <li>・地域の特性を生かした文化を望む</li> <li>・歴史、その他について文化活動を強めてほしい</li> <li>・重春キャラクターを作りアピールする</li> </ul>

(5) 社会・コミュニティ・教育

参画・ボランティアに関する問題点・課題

ハード面での問題点・課題	ソフト面での問題点・課題
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの祭り、運動会など子ども中心で町民全員参加の催し</li> <li>・参加できる場を創ること(ボランティア活動、健康づくり活動、まつりなど)</li> <li>・地区住民の楽しめる行事を行う</li> <li>・ボランティアに喜んで参加出来るような事業が多いと良い</li> <li>・これから先頭に立ってもらおう若者の意見が必要</li> <li>・30~40才代の社会参加</li> <li>・中学生のパワー、行動力、あいさつ、ボランティア等の活用</li> <li>・子どもたちの地区に溶け込む大切さ</li> </ul>

人材育成に関する問題点・課題

ハード面での問題点・課題	ソフト面での問題点・課題
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休耕田の活用に酪農の振興技術を生かす</li> <li>・リーダーの養成・確保が重要</li> <li>・吹奏楽、美術部等の活用</li> <li>・子どもを教育する前に子どもの親の教育をする 自然の中で遊んだ事のない親もいるのでは・・・自然の中で子どもを遊ばす事が一番の教育である</li> <li>・大人が自然の中での遊び方を子どもに指導できるようにならねばならない</li> <li>・プロセスの中で住民参加意識を醸成し全員の力を結集できることが望ましい</li> <li>・色々なことを教えてくれるおじさんやおばさん⇒子どもが楽しく伸び伸び暮らせる、安心して子育てができる、若い人が集まるまち</li> </ul>

安全安心・コミュニティに関する問題点・課題

ハード面での問題点・課題	ソフト面での問題点・課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活上の便宜性、生活上の安全、災害に強いまち</li> <li>・町と町の交流の場の確保</li> <li>・ふれあいの場の確保と利用方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児、児童の登下校時の高齢者によるパトロールチームの発足、安全安心（子どもの安全、恐喝、いじめ）</li> <li>・ちょっとしたお節介も大切だと思います</li> <li>・防犯対策の推進、犯罪のないまち</li> <li>・自然に声かけのできる人間関係にあたたかみの感じられる町でありたい</li> <li>・広報活動の活発化、わが町のニュースが遅い、わがまちのニュースを広報しよう</li> <li>・地域エゴから脱すること</li> <li>・美しいまち、楽しいまち、幸せを感じるまち</li> <li>・みんなが元気に暮らせるまち、地域の人みんなが安心してお互いに気持ちよく暮らせる社会づくり</li> <li>・老幼男女が仲良く暮らせる町</li> <li>・交流のもてる場をつくり、どんどん人と接したり、話したりして楽しく過ごせたらいい</li> <li>・地区の交流が盛んになることがより重要</li> <li>・誰にでも相談できるまち</li> <li>・あいさつし合えるまち⇒活気を生む</li> <li>・生き生きと暮らせる人にやさしいまち</li> <li>・守るルールがあるまち</li> <li>・安全で安心できるコミュニティづくり（人的な支援）</li> </ul>

学校・教育に関する問題点・課題

ハード面での問題点・課題	ソフト面での問題点・課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・野村地区を含めて重春地区は学校園が多いので、一緒に活動できれば良い</li> <li>・重春、野村地区を一緒にの地区にできないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎、教室、グラウンド、体育館、武道館等の活用</li> </ul>

(6) 福祉

高齢化に関する問題点・課題

ハード面での問題点・課題	ソフト面での問題点・課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化の中でのまちづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者がどんどん増えてきます</li> <li>・高齢者は車に乗ることもできず、家族もまちへ出て行ったりして、張り合いのない毎日になっていくのではないか？</li> <li>・福祉の充実</li> <li>・高齢者が外でよく見かけられるまちに</li> </ul>

少子化に関する問題点・課題

ハード面での問題点・課題	ソフト面での問題点・課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化が進む社会の中で、どのようにして若い人が郷里へ帰ってくるか</li> <li>・若者がどうすれば増えていくのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが安心して楽しく関われる「地域」があれば良い、地域で子育て</li> <li>・子どもたちに負の財産を残さないようにしてほしい</li> <li>・子どもたちの歓喜の音がこだまする元気なまちづくり</li> <li>・子どもたちに夢を与えること</li> <li>・元気な子どもの声が聞きたい</li> </ul>



## 第2章 地域住民アンケート調査の結果

### 1. アンケート調査の概要

重春ゆめづくり委員会では、重春地区まちづくり計画の策定にあたって、重春地区の住民に広く意見を聞き取り、計画に意向を採り入れるために、地域住民アンケート調査を実施しました。

アンケート調査の概要は、以下のとおりです。

#### 【調査概要】

- ・ 調査日時：平成19年6月中旬～6月下旬頃にかけて（回収期限：6月30日）
- ・ 調査方法：調査票直接配布・回収（隣保長等による配布・回収）
- ・ 調査対象者：重春地区住民 1,000名（抽出結果の詳細は下表参照）
- ・ 回収結果：654名（回収率：65.4%）

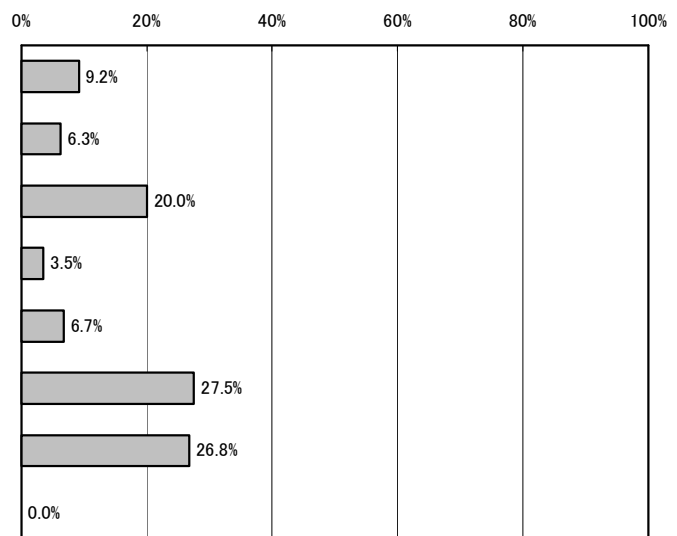
#### 【調査対象者抽出表】

区分	人口割合 %	合 計										
		人数	和布町	高松町	板波町	旭ヶ丘	平野町	谷町	谷町団地	和田町	高田井町	三和町
		6,145	635	360	692	348	219	164	147	2,000	1,398	182
		人	10.3%	5.9%	11.3%	5.7%	3.6%	2.7%	2.4%	32.5%	22.8%	3.0%
16-19	9.7%	97	10	6	10	5	4	2	2	32	23	3
20-24	9.6%	96	10	6	10	5	4	2	2	32	22	3
25-29	9.6%	96	10	6	10	5	4	2	2	32	22	3
30-34	6.5%	65	7	4	8	4	2	2	2	20	14	2
35-39	6.5%	65	7	4	8	4	2	2	2	20	14	2
40-44	6.5%	65	7	4	8	4	2	2	2	20	14	2
45-49	6.5%	65	7	4	8	4	2	2	2	20	14	2
50-54	6.5%	65	7	4	8	4	2	2	2	20	14	2
55-59	6.5%	65	7	4	8	4	2	2	2	20	14	2
60-64	6.5%	65	7	4	8	4	2	2	2	20	14	2
65-69	6.4%	64	7	4	8	4	2	2	2	20	13	2
70-74	6.4%	64	7	4	8	4	2	2	2	20	13	2
75-79	6.4%	64	7	4	8	4	2	2	2	20	13	2
80歳以上	6.4%	64	7	4	8	4	2	2	2	20	13	2
合計	100.0%	1,000	107	62	118	59	34	28	28	316	217	31

### 2. アンケート調査の結果

問1. あなたがお住まいの町名は？

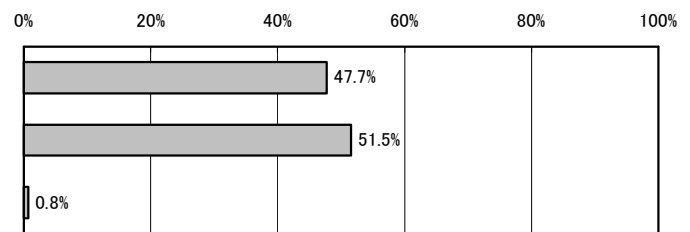
No.	選択肢	件数	構成比
1	和布町	60	9.2%
2	高松町	41	6.3%
3	板波町	131	20.0%
4	平野町	23	3.5%
5	谷町	44	6.7%
6	和田町	180	27.5%
7	高田井町	175	26.8%
8	その他・無回答	0	0.0%
	合計	654	100.0%



## ■ 第2章 地域住民アンケート調査の結果

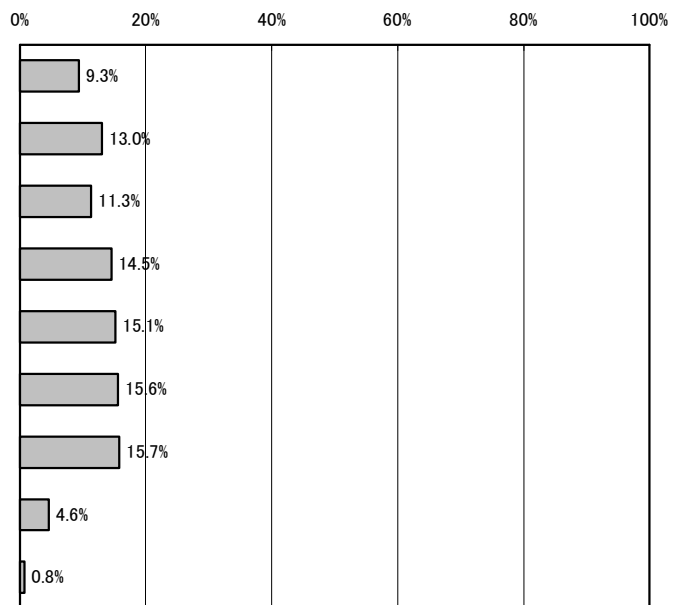
問2. あなたの性別は？

No.	選択肢	件数	構成比
1	男性	312	47.7%
2	女性	337	51.5%
3	無回答	5	0.8%
	合計	654	100.0%



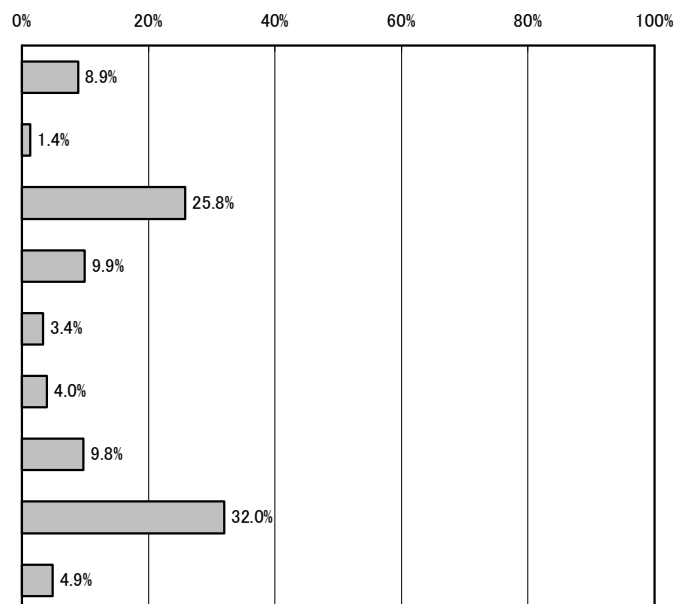
問3. あなたの年齢は？

No.	選択肢	件数	構成比
1	16歳～19歳	61	9.3%
2	20歳～29歳	85	13.0%
3	30歳～39歳	74	11.3%
4	40歳～49歳	95	14.5%
5	50歳～59歳	99	15.1%
6	60歳～69歳	102	15.6%
7	70歳～79歳	103	15.7%
8	80歳以上	30	4.6%
9	無回答	5	0.8%
	合計	654	100.0%



問4. あなたの職業は？

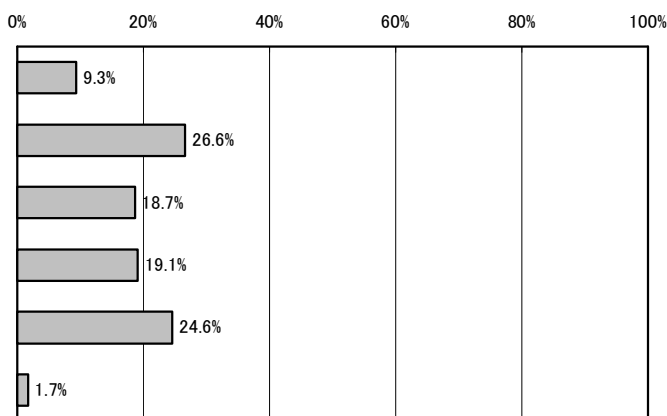
No.	選択肢	件数	構成比
1	学生・生徒	58	8.9%
2	農業・林業・漁業	9	1.4%
3	会社、団体に勤務	169	25.8%
4	自営業(商店・工場等の経営者)	65	9.9%
5	サービス業(医師、理容業、旅館業、自動車整備業など)	22	3.4%
6	公務員	26	4.0%
7	パート・アルバイト	64	9.8%
8	無職(主婦、家事手伝いも含む)	209	32.0%
9	その他・無回答	32	4.9%
	合計	654	100.0%



■ 第2章 地域住民アンケート調査の結果

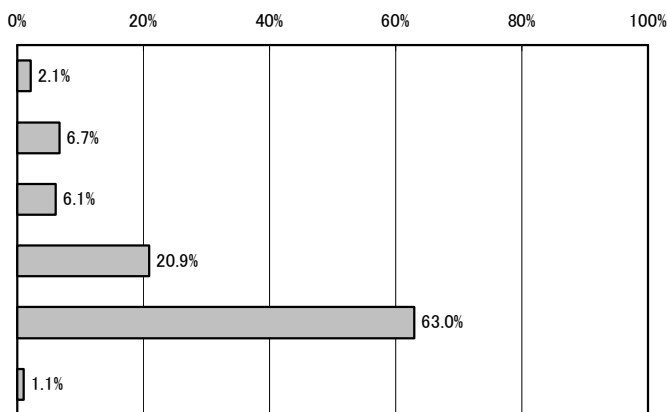
問5. あなたは何人で住んでいますか？

No.	選択肢	件数	構成比
1	1人	61	9.3%
2	2人	174	26.6%
3	3人	122	18.7%
4	4人	125	19.1%
5	5人以上	161	24.6%
6	無回答	11	1.7%
	合計	654	100.0%



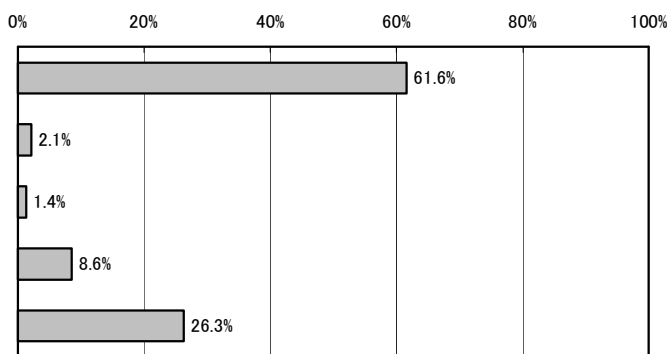
問6. あなたは現在のところに何年ぐらい住んでいますか？

No.	選択肢	件数	構成比
1	1年未満	14	2.1%
2	1年以上～5年未満	44	6.7%
3	5年以上～10年未満	40	6.1%
4	10年以上～20年未満	137	20.9%
5	20年以上	412	63.0%
6	無回答	7	1.1%
	合計	654	100.0%



問7. あなたの今後の居住予定は？

No.	選択肢	件数	構成比
1	ずっと住み続けたい	403	61.6%
2	重春地区内のどこかに転居したい	14	2.1%
3	市内のどこかに転居したい	9	1.4%
4	市外に転居したい	56	8.6%
5	わからない・無回答	172	26.3%
	合計	654	100.0%

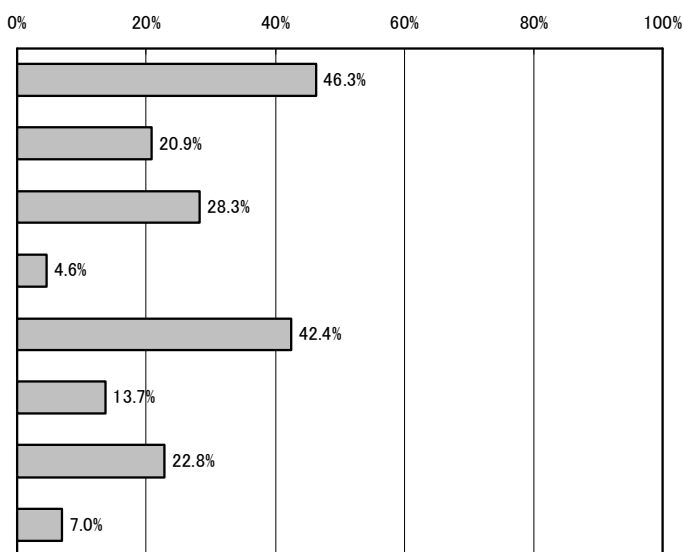


※回答者の60%以上が、重春地区にずっと住み続けたいという意見であった。その一方で、市外に転居したいという意見もわずかながら見られた（56名、8.6%）。

## ■第2章 地域住民アンケート調査の結果

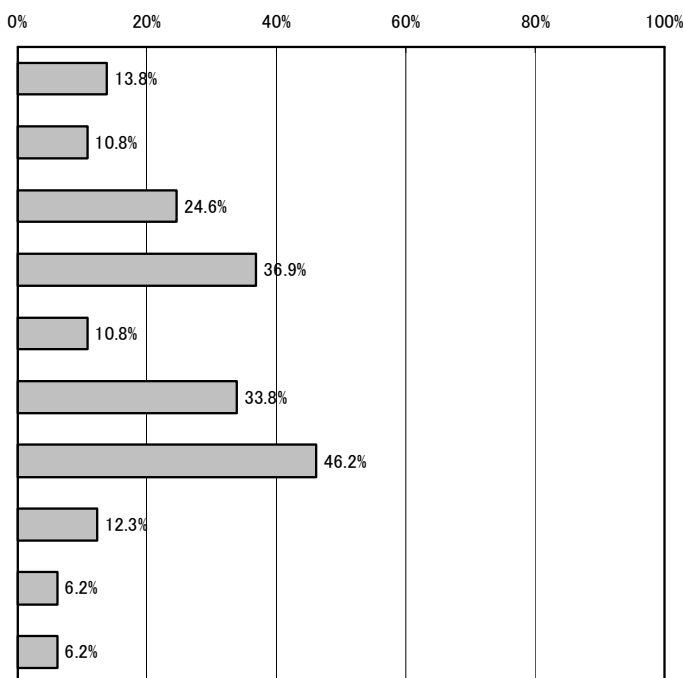
問8. 問7で1又は2を選んだ理由は？(3つまで)

No.	選択肢	件数	構成比
1	先祖からの土地だから	193	46.3%
2	親類縁者の近くだから	87	20.9%
3	自然環境が良いから	118	28.3%
4	教育環境が良いから	19	4.6%
5	日常生活に便利だから	177	42.4%
6	通勤・通学に便利だから	57	13.7%
7	近所づきあいがうまくいっているから	95	22.8%
8	家賃や地価が安いから	29	7.0%
	母数	417	100.0%



問9. 問7で3又は4を選んだ理由は？(3つまで)

No.	選択肢	件数	構成比
1	自然環境がよくないから	9	13.8%
2	教育環境が悪いから	7	10.8%
3	日常生活に不便だから	16	24.6%
4	通勤・通学に不便だから	24	36.9%
5	医療・福祉施設が少ないから	7	10.8%
6	まちににぎわいがいいから	22	33.8%
7	発展性がないから	30	46.2%
8	近所づきあいがうまくいっていないから	8	12.3%
9	家賃や地価が高いから	4	6.2%
10	騒音・振動など公害が多いから	4	6.2%
	母数	65	100.0%

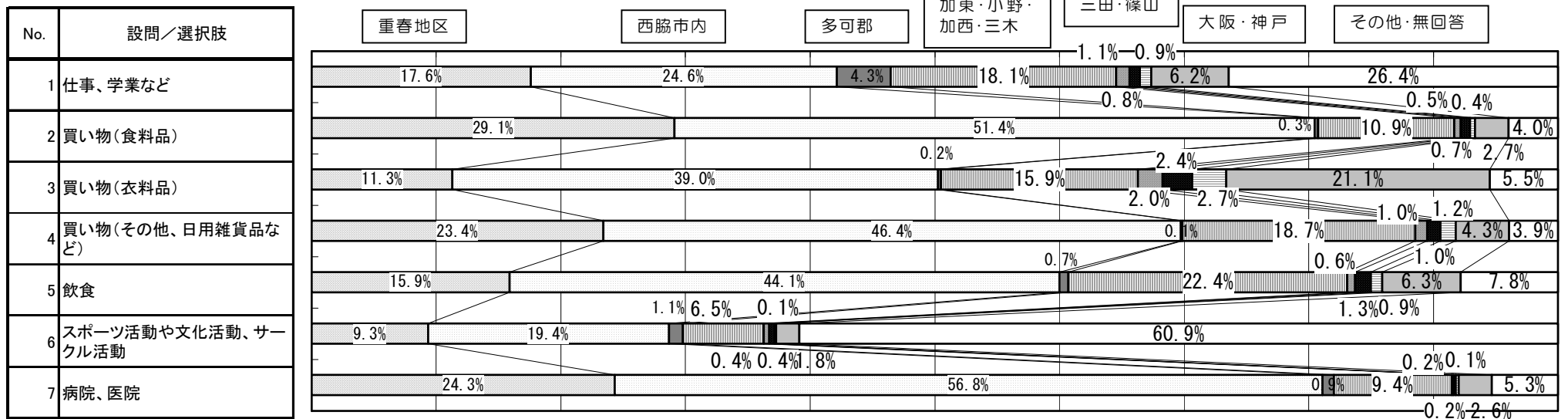


※重春地区に住み続けたいという回答の理由としては、「先祖からの土地だから」が46.3%と最も多く、次いで「日常生活に便利だから」という意見が42.4%と多い。

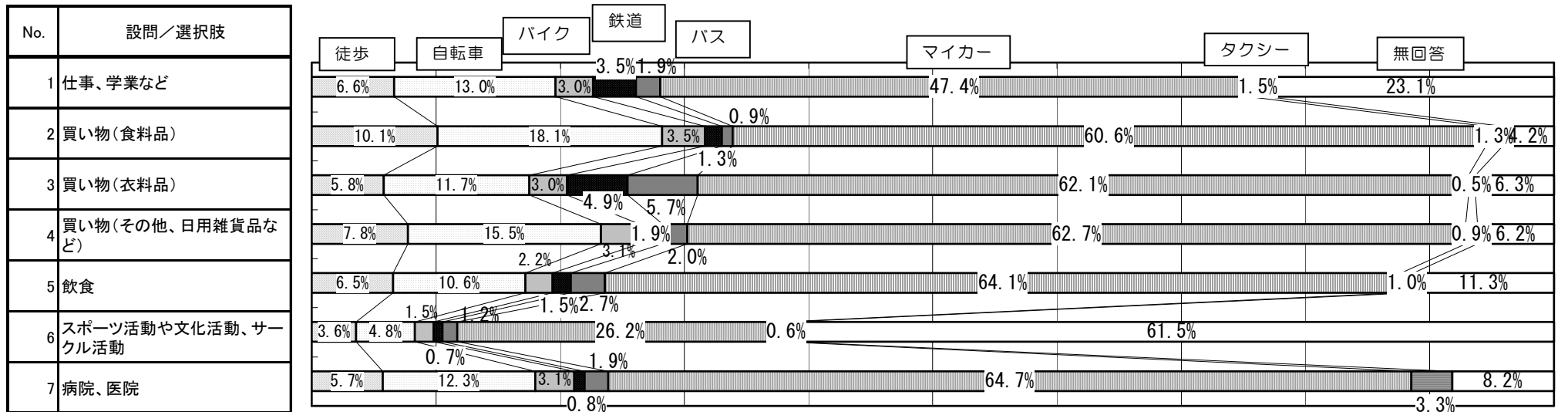
市外を含めた地区外に転居したい方の理由としては、「発展性がないから」が46.2%と最も多く、次いで「通勤・通学に不便だから」という意見が36.9%と多い。また、「まちににぎわいがいいから」といった意見も多くなっている。

■第2章 地域住民アンケート調査の結果

問10 日々の仕事や学業、買い物等の日常の外出について  
外出先は？（2つまで）



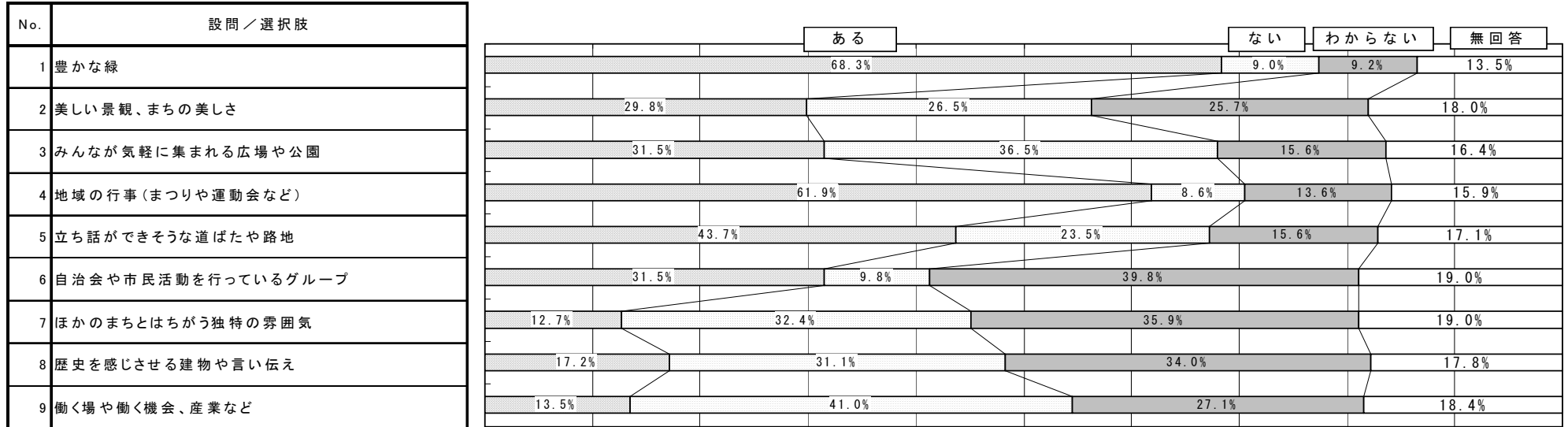
外出する際の交通手段は？（2つまで）



※外出先としては、いずれの用事についても重春地区内および西脇市内が最も多く、その交通手段としては、マイカーが最も多い。

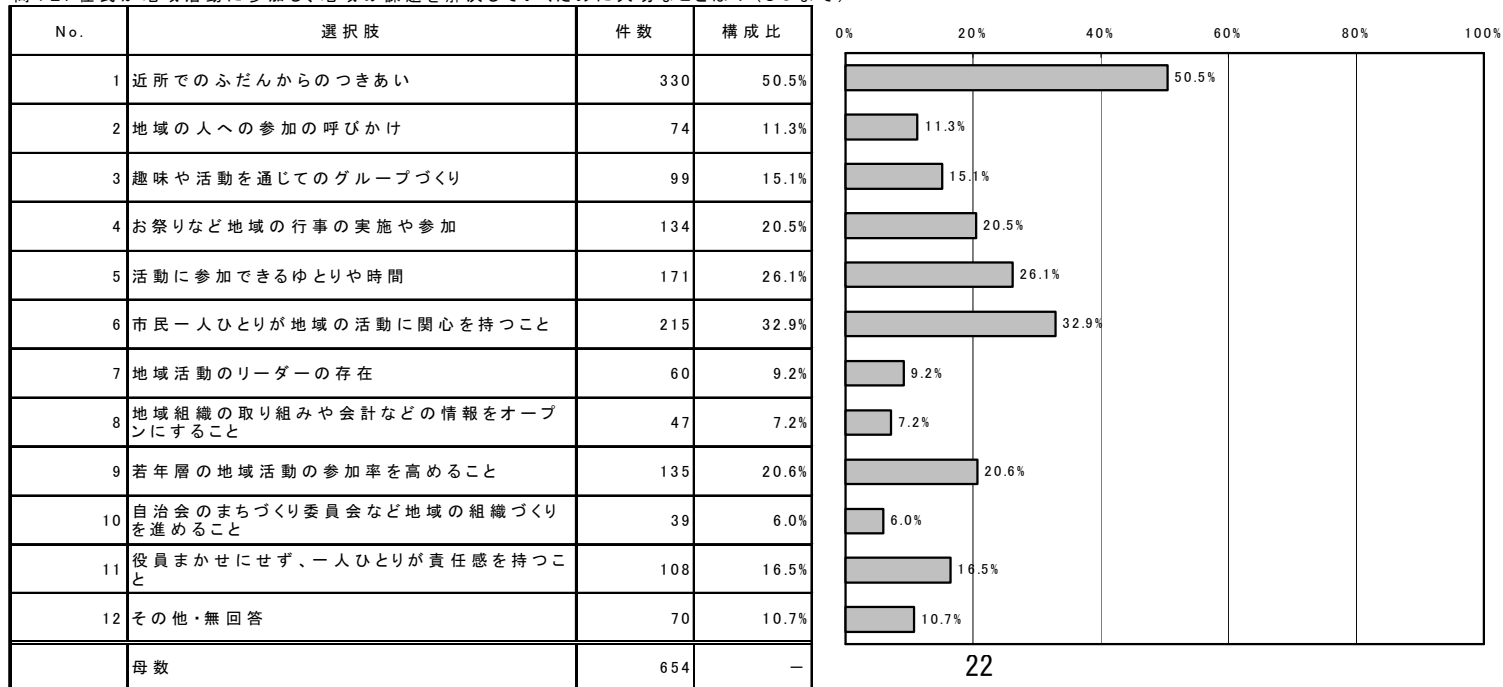
## ■第2章 地域住民アンケート調査の結果

問11. 重春地区について、それぞれ当てはまるものは？

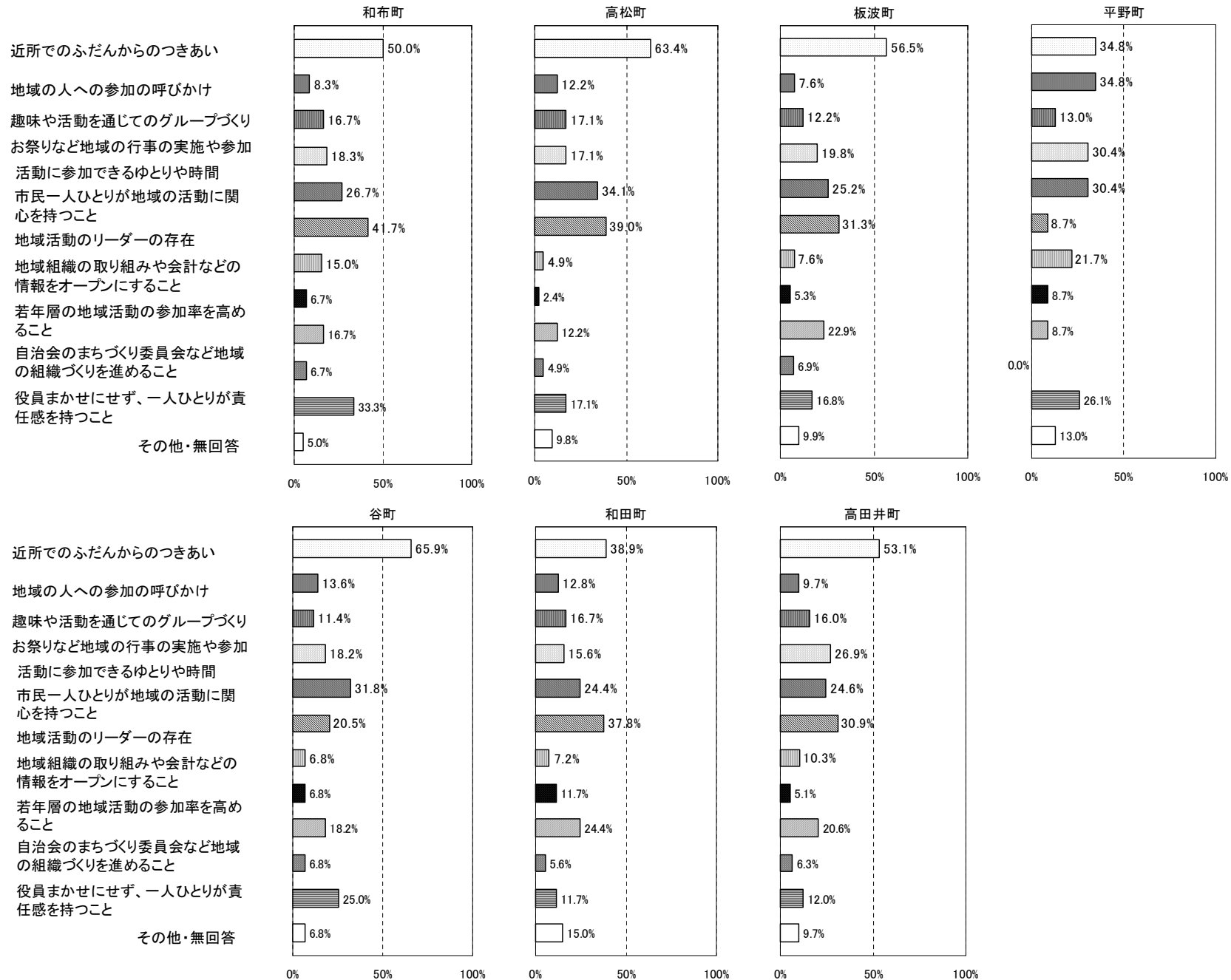


※重春地区の印象としては、「豊かな緑」や「美しい景観、まちの美しさ」といった環境に関するもの、「地域の行事」といった伝統文化に関するものについては、充実しているイメージが強く、その一方で「働く場や働く機会、産業」などは少ないというイメージを強く持っている。

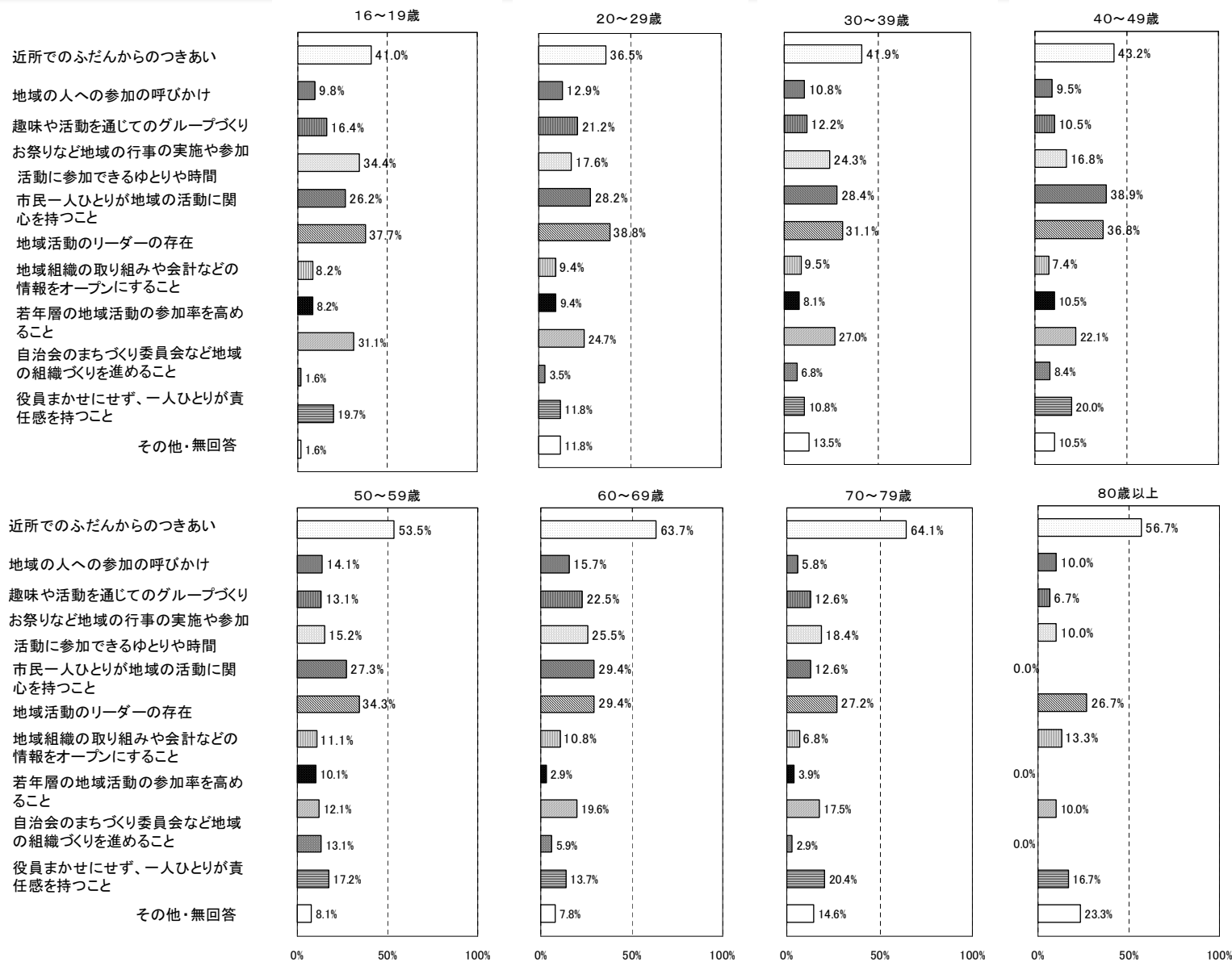
問12. 住民が地域活動に参加し、地域の課題を解決していくために大切なことは？(3つまで)



■第2章 地域住民アンケート調査の結果



## ■第2章 地域住民アンケート調査の結果

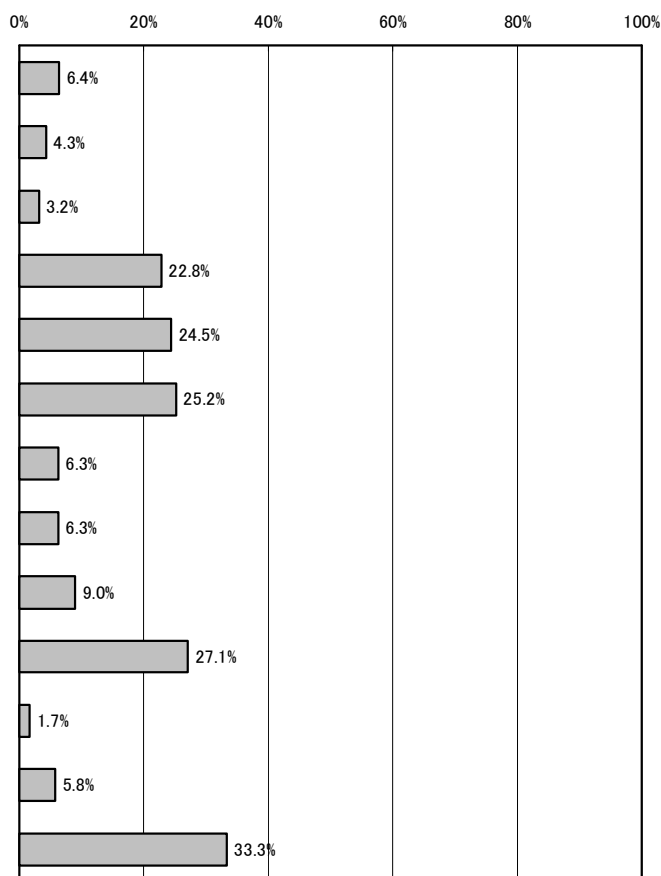


※住民が地域活動に参加し、地域の課題を解決するために重要なこととしては、「近所でのふだんからのつきあい」を大切にすることが最も多い。これは全ての町、年齢層についても当てはまっている。また、「市民一人ひとりが地域の活動に関心を持つこと」という意見も多い。その他に特徴的な傾向としては、「若年層の地域活動の参加率を高めること」という意見も全体で20%程度見られるが、この意見については、10代から20代、30代、40代の年齢層で多くなっており、自らのこととして捉えている傾向が見られる。

## ■第2章 地域住民アンケート調査の結果

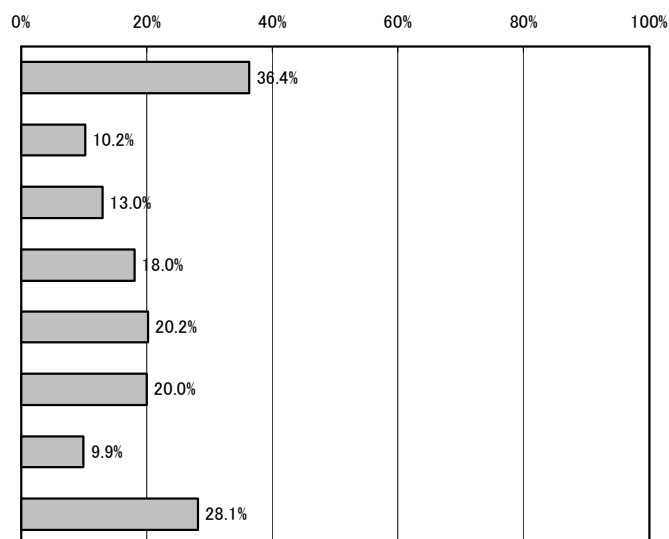
問13. この1年間の活動の参加実績は？(全て)

No.	選択肢	件数	構成比
1	お年寄りの世話など地域の福祉活動	42	6.4%
2	青少年を健やかに育てるための活動	28	4.3%
3	子育て支援活動	21	3.2%
4	ゴミの減量化や環境(エコロジー)活動、リサイクル活動	149	22.8%
5	道路や河川などの地域美化活動	160	24.5%
6	山の下刈りや溝ぶしん	165	25.2%
7	まちに緑や花を増やす活動	41	6.3%
8	防災訓練や夜回りなど地域安全活動	41	6.3%
9	文化・スポーツイベントの企画や運営、スポーツ・文化活動	59	9.0%
10	地域の伝統行事、祭りや盆踊りなどの地域のふれあい行事	177	27.1%
11	地域でのフリーマーケットなどの企画や運営、出店	11	1.7%
12	団体や施設などでのボランティア	38	5.8%
13	その他・無回答	218	33.3%
	母数	654	—



問14. 問13のような活動に参加しづらい理由は？(全て)

No.	選択肢	件数	構成比
1	参加する時間がないから	238	36.4%
2	関心がないから	67	10.2%
3	人間関係がわずらわしそうだから	85	13.0%
4	身近に一緒に活動する仲間がないから	118	18.0%
5	きっかけがなかったから	132	20.2%
6	どういう活動が行われているかわからないから	131	20.0%
7	活動に伴う責任が重荷になりそうだから	65	9.9%
8	その他・無回答	184	28.1%
	母数	654	—

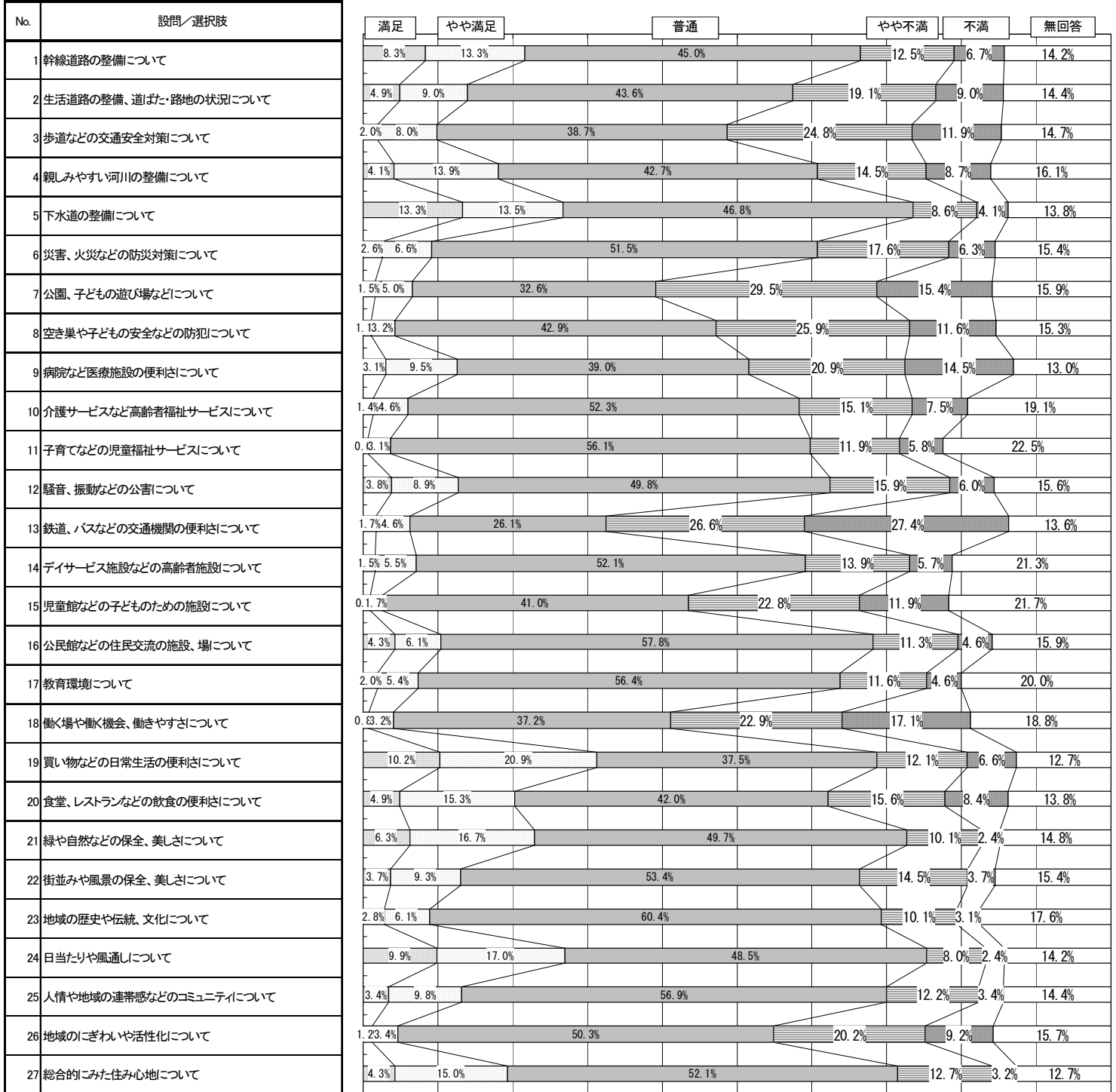


※最近の地域活動への参加状況としては、「道路や河川の美化活動」、「山の下刈り」といった環境活動を中心に多くなっており、「伝統行事、地域のふれあい活動」への参加も多い。

しかし、これらの活動へ参加しづらい理由としては、「参加する時間がない」が最も多く、「きっかけがない」や「活動がわからない」といった意見も多くなっている。

## ■ 第2章 地域住民アンケート調査の結果

問15. お住まいの地域の生活環境について、どのように感じているか

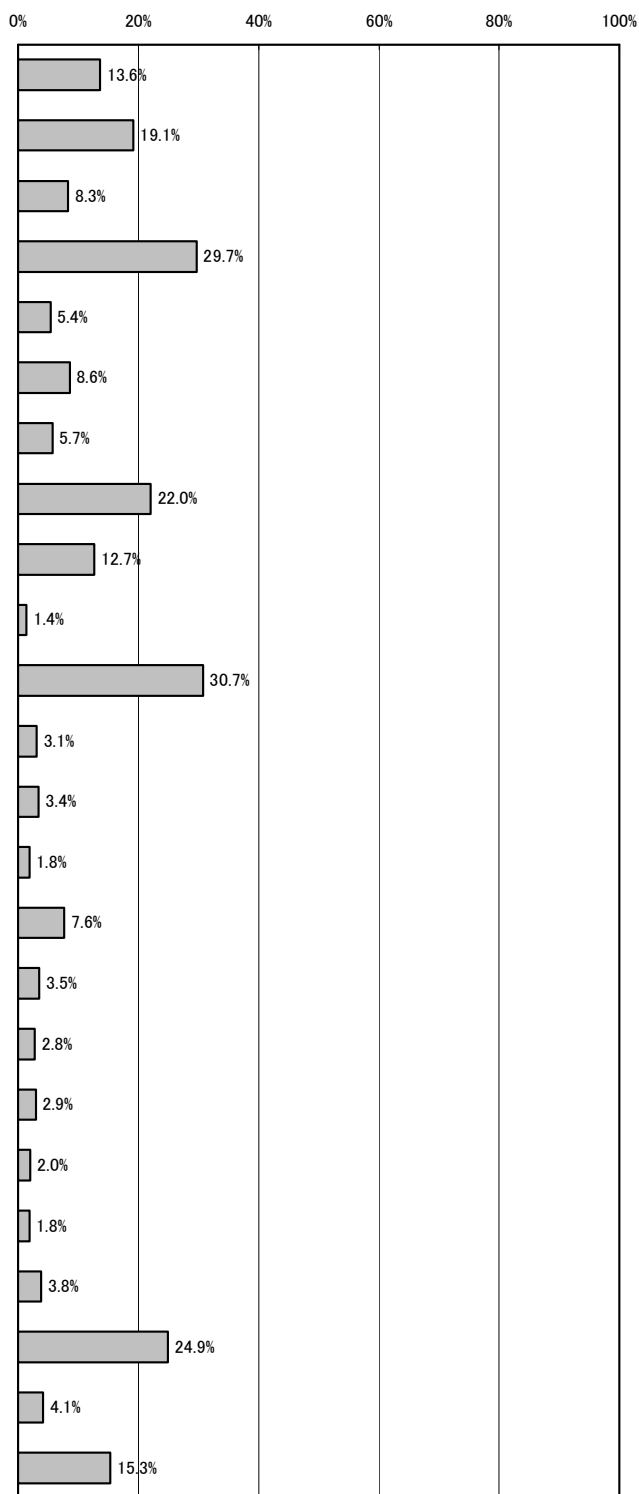


※重春地区に対する満足度としては、「日常生活の便利さ」や「緑や自然の保全、美しさ」、「日当たり、風通し」といった、いわゆる自然環境や快適環境については満足度が高くなっているが、「道路の整備」や「交通安全対策」、「公園」、「交通利便性」といった生活基盤の環境については、不満と感じている住民が多くなっている。また、「働く場、働く機会」についても不満をあげる意見が多い。

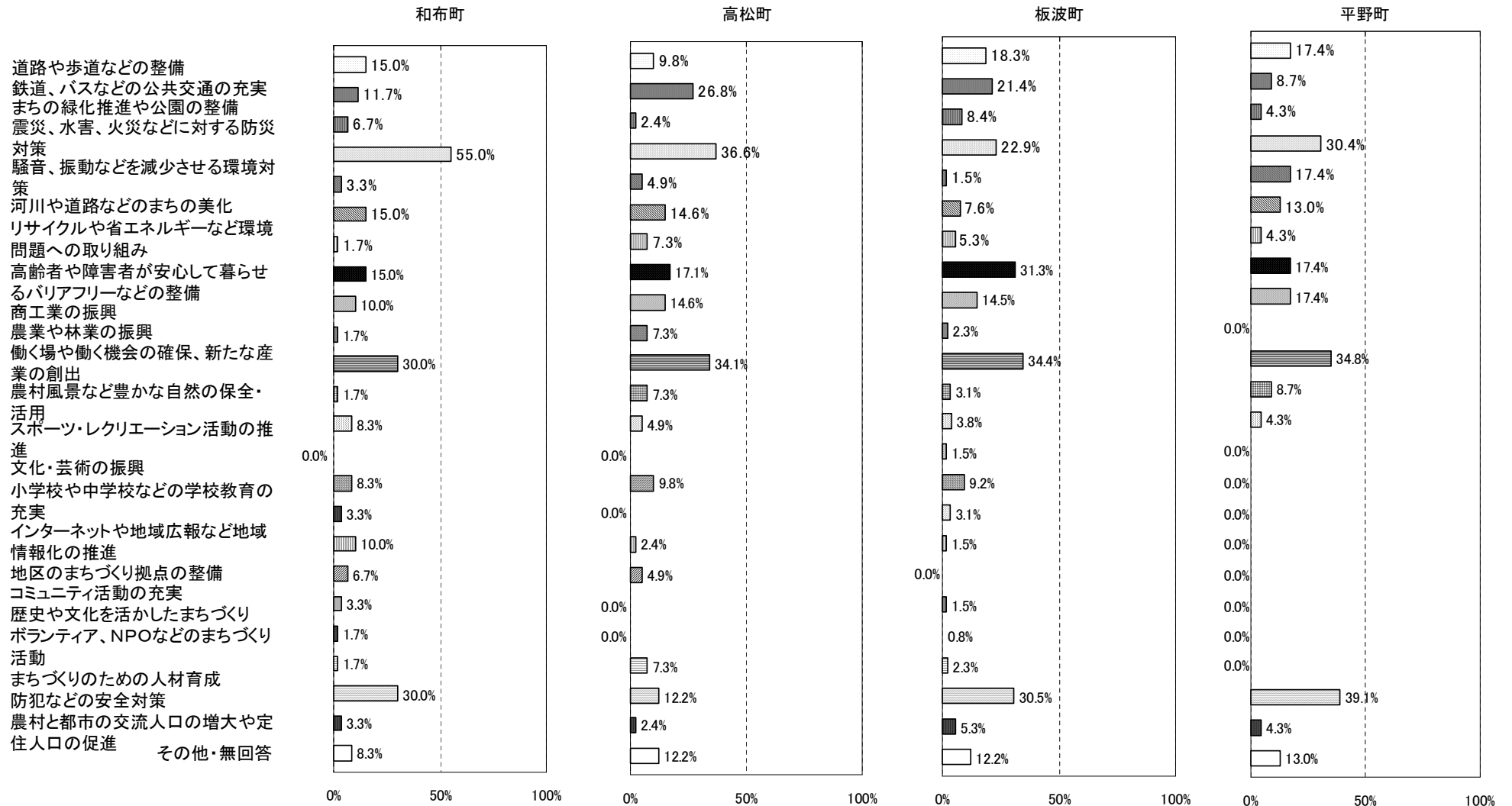
■第2章 地域住民アンケート調査の結果

問16. これからの重春地区には、何が重要か？(3つまで)

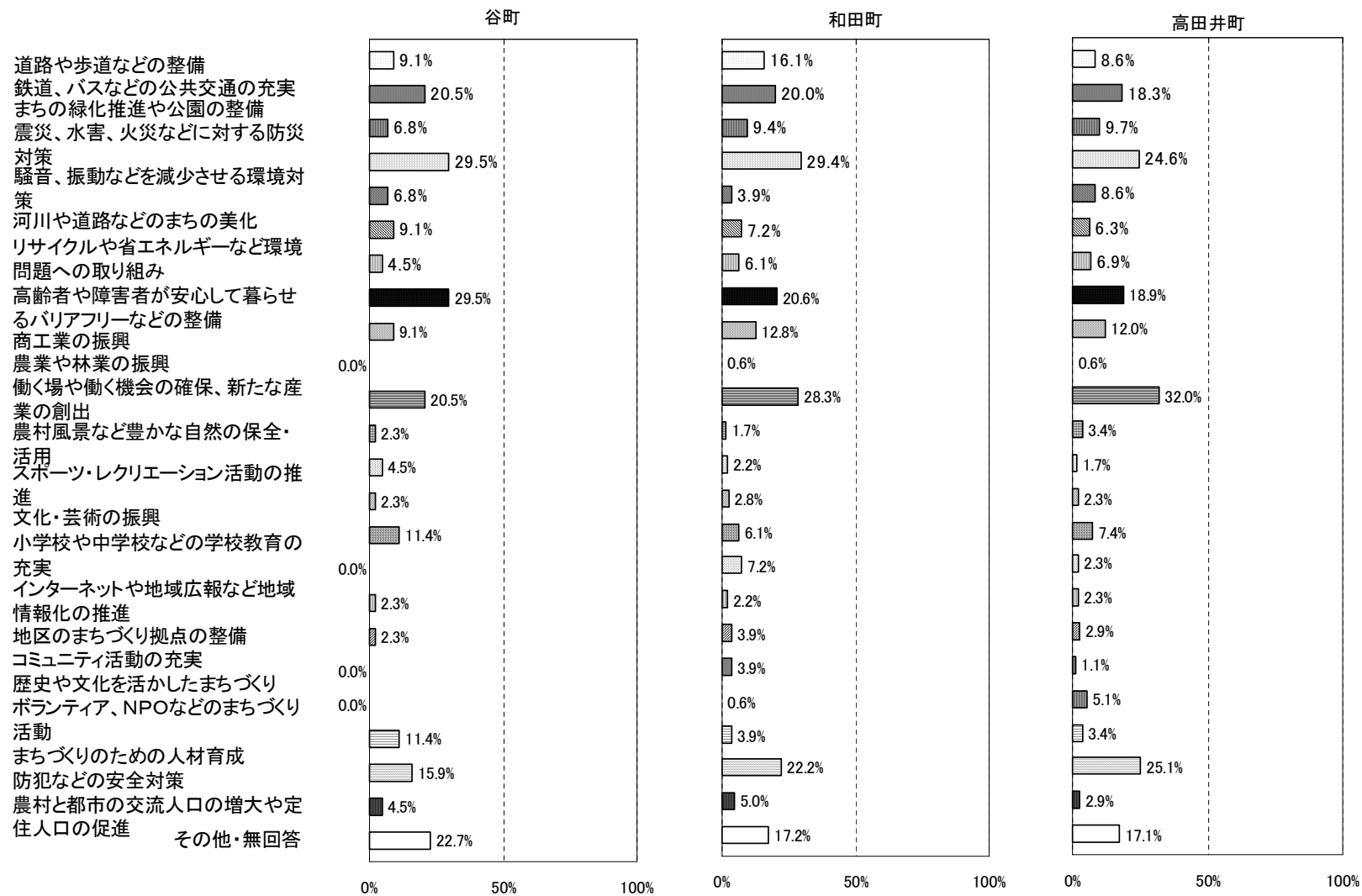
No.	選択肢	件数	構成比
1	道路や歩道などの整備	89	13.6%
2	鉄道、バスなどの公共交通の充実	125	19.1%
3	まちの緑化推進や公園の整備	54	8.3%
4	震災、水害、火災などに対する防災対策	194	29.7%
5	騒音、振動などを減少させる環境対策	35	5.4%
6	河川や道路などのまちの美化	56	8.6%
7	リサイクルや省エネルギーなど環境問題への取り組み	37	5.7%
8	高齢者や障害者が安心して暮らせるバリアフリーなどの整備	144	22.0%
9	商工業の振興	83	12.7%
10	農業や林業の振興	9	1.4%
11	働く場や働く機会の確保、新たな産業の創出	201	30.7%
12	農村風景など豊かな自然の保全・活用	20	3.1%
13	スポーツ・レクリエーション活動の推進	22	3.4%
14	文化・芸術の振興	12	1.8%
15	小学校や中学校などの学校教育の充実	50	7.6%
16	インターネットや地域広報など地域情報化の推進	23	3.5%
17	地区のまちづくり拠点の整備	18	2.8%
18	コミュニティ活動の充実	19	2.9%
19	歴史や文化を活かしたまちづくり	13	2.0%
20	ボランティア、NPOなどのまちづくり活動	12	1.8%
21	まちづくりのための人材育成	25	3.8%
22	防犯などの安全対策	163	24.9%
23	農村と都市の交流人口の増大や定住人口の促進	27	4.1%
24	その他・無回答	100	15.3%
	母数	654	—



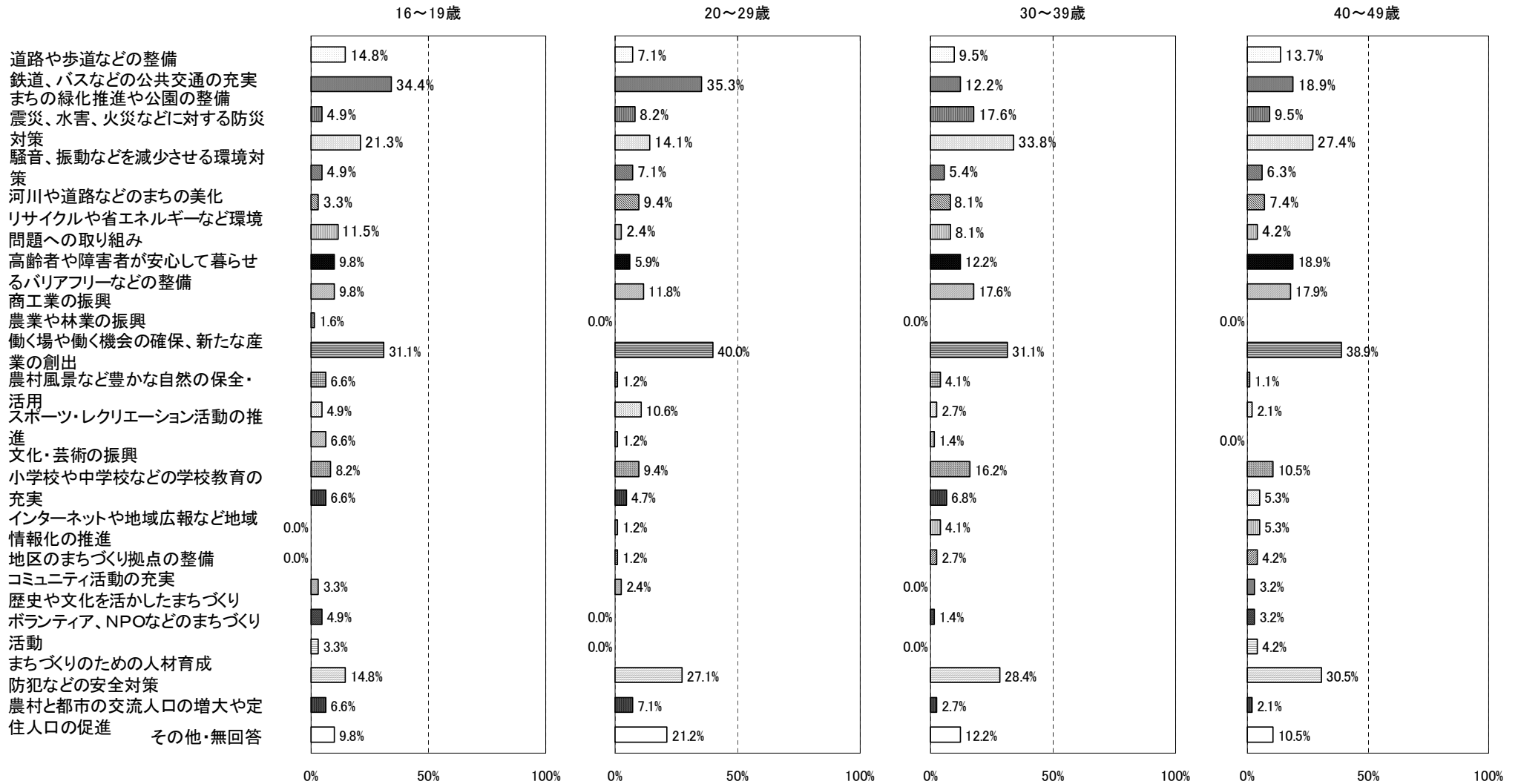
■第2章 地域住民アンケート調査の結果



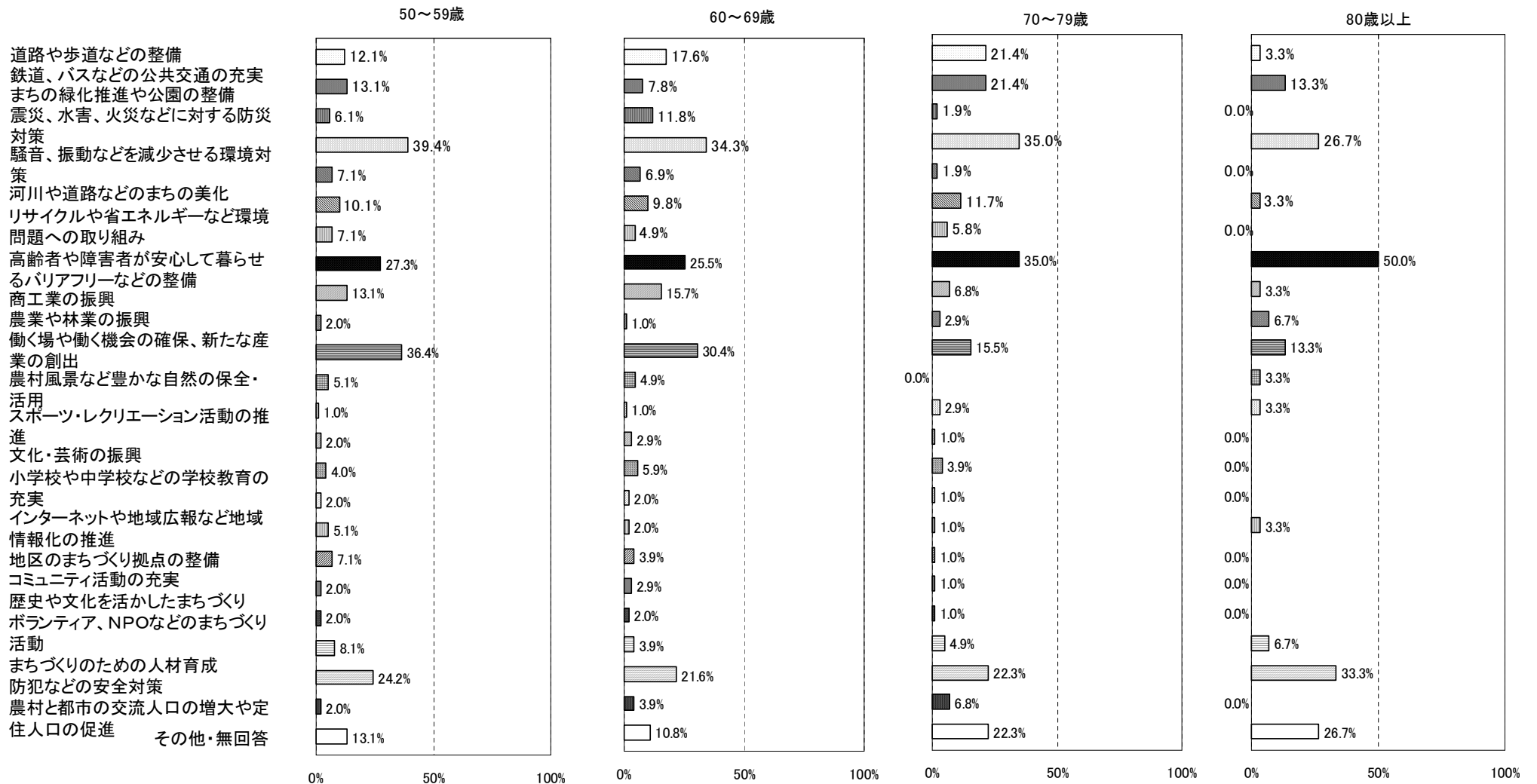
■ 第2章 地域住民アンケート調査の結果



■ 第2章 地域住民アンケート調査の結果



## ■第2章 地域住民アンケート調査の結果



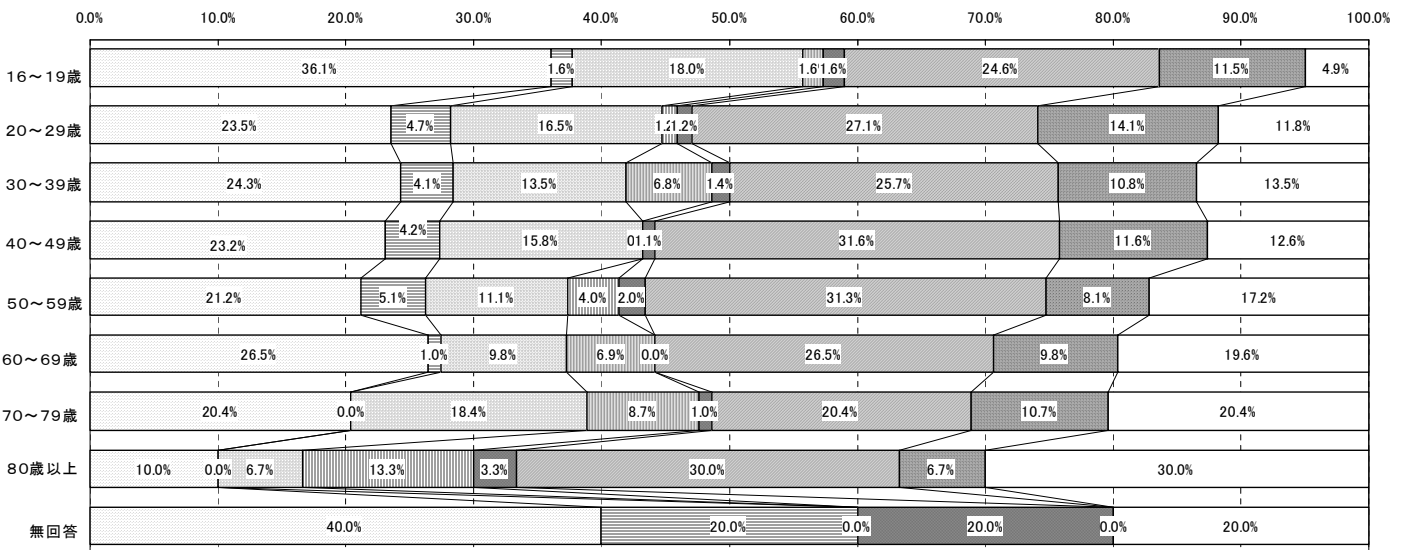
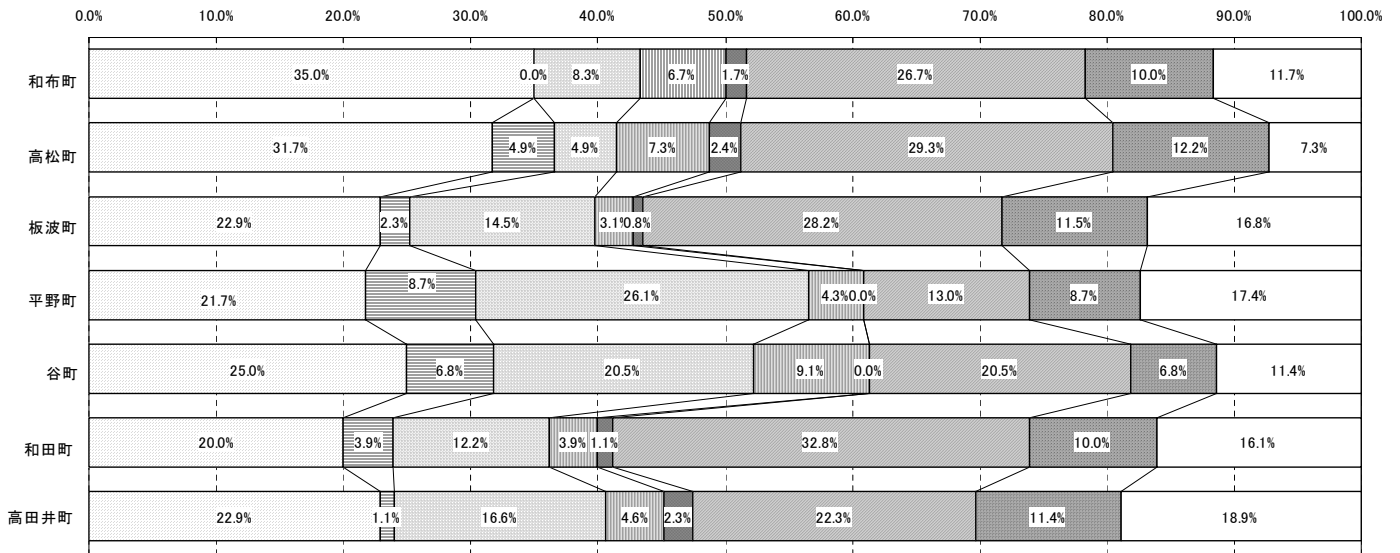
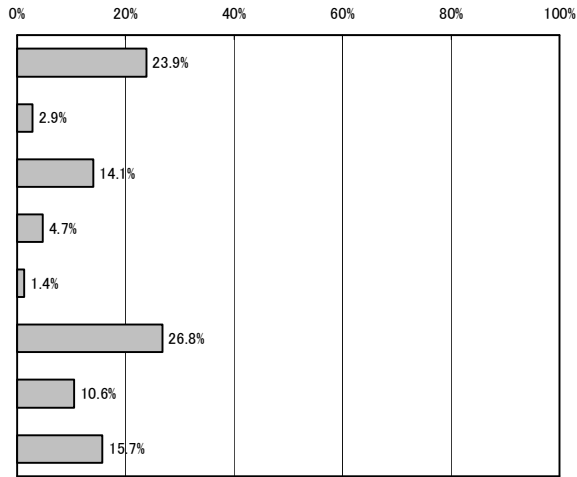
※これからの重春地区にとって重要なことは、「働く場、働く機会」の確保が最も多く、次いで「防災対策」や「防犯などの安全対策」といった生活の安全・安心の確保が多くなっている。

特に10代から40代にかけての働き盛りの現役世代にとっては、「働く場、働く機会」の確保が最も重要となっている。そして、年齢が50代から60代、70代、80代へと上がるにつれ、「バリアフリーなどの整備」という高齢化社会への対応が重要となっている。

## ■第2章 地域住民アンケート調査の結果

問18. これからのまちづくりの中心となるのは誰か？

No.	選択肢	件数	構成比
1	住民自身(個人)	156	23.9%
2	地域の企業や事業所	19	2.9%
3	市などの行政	92	14.1%
4	各町区長会(自治会)	31	4.7%
5	NPO、ボランティアなどの活動団体	9	1.4%
6	まちに関わるすべての住民・企業・自治会・団体・行政など	175	26.8%
7	わからない	69	10.6%
8	その他・無回答	103	15.7%
合計		654	100.0%



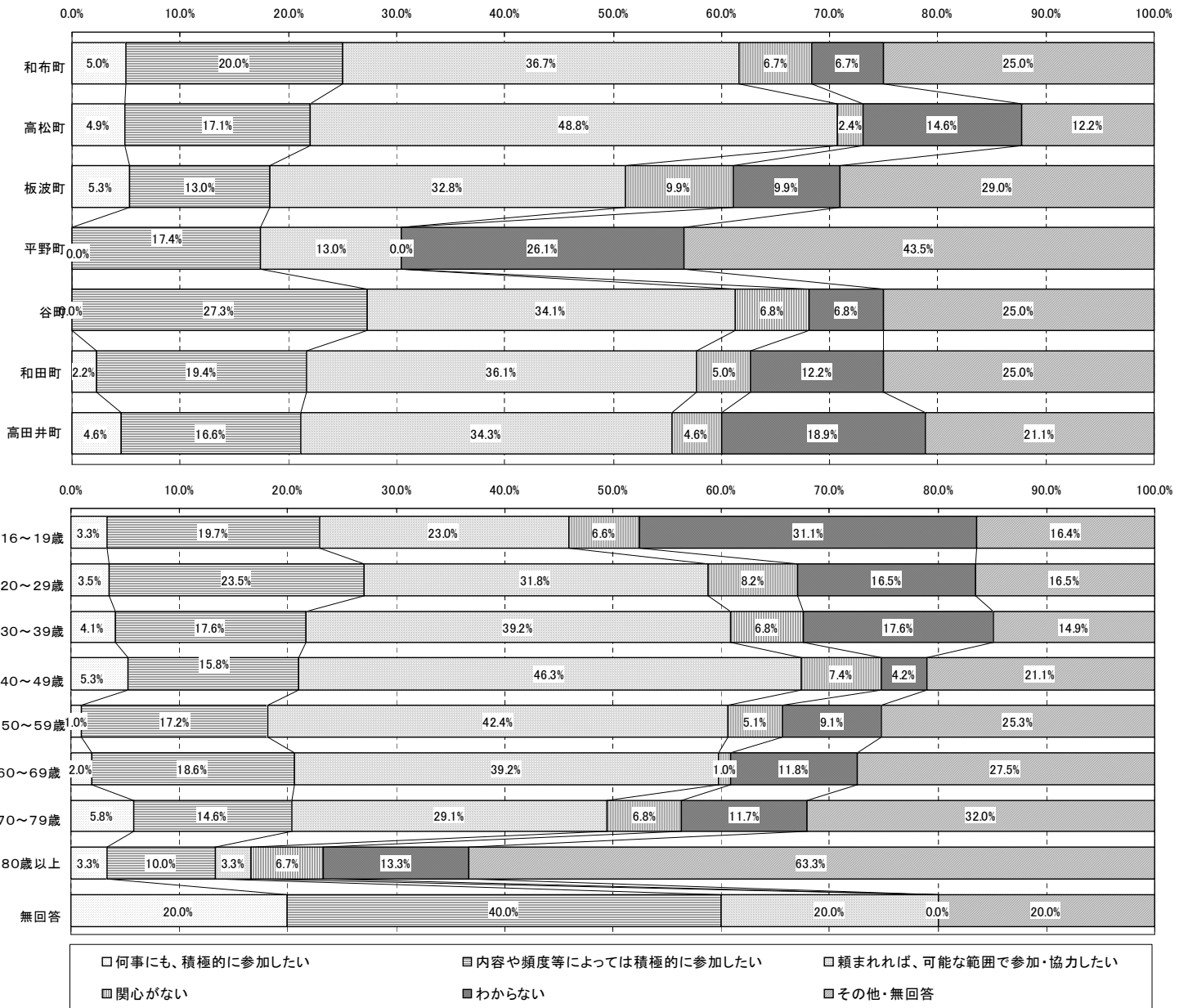
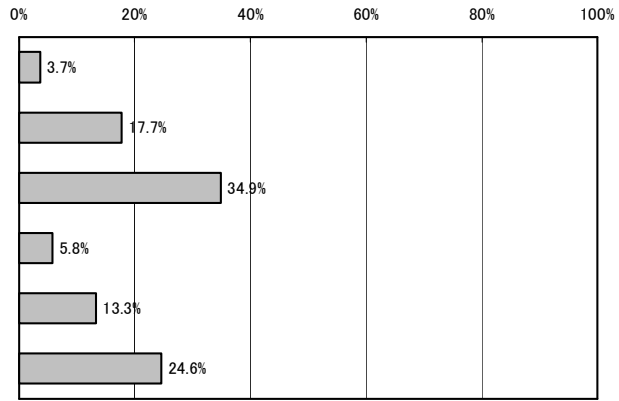
- 住民自身(個人)
- 市などの行政
- NPO、ボランティアなどの活動団体
- わからない
- 地域の企業や事業所
- 各町区長会(自治会)
- まちに関わるすべての住民・企業・自治会・団体・行政など
- その他・無回答

※これからのまちづくりの中心となる主体については、「まちに関わる全ての主体」という意見が最も多く、「住民自身」という意見も多い。年齢別に見ると、若い世代ほど「住民自身」という考えが強くなっている。

## ■第2章 地域住民アンケート調査の結果

問19. これからのまちづくりにおける住民参加について？

No.	選択肢	件数	構成比
1	何事にも、積極的に参加したい	24	3.7%
2	内容や頻度等によっては積極的に参加したい	116	17.7%
3	頼まれれば、可能な範囲で参加・協力したい	228	34.9%
4	関心がない	38	5.8%
5	わからない	87	13.3%
6	その他・無回答	161	24.6%
	合計	654	100.0%



※これからのまちづくりへの参加意向としては、「頼まれれば、可能な範囲で参加・協力」という意見が最も多い。「内容や頻度によっては積極的に参加したい」も17.7%あるが、「何事にも積極的に参加したい」はわずか3.7%となっている。

また、若い年齢層ほど「関心がない」という意見が多くなっているのも特徴である。

## 重春地区ゆめづくりアンケート意見抜粋

### 問17 誇り・今あるもので活用したいもの

- ①美しい自然や河川を大切に守るべき。
- ②J R加古川線をもっと活用すべき。
- ③神社やお寺を大切にすべき。
- (秋)祭り
- 山や河に囲まれた程よい自然さと田舎らしさ。
- 休耕田の活用
- 川を美しくした上で川辺の空間の利用
- 播州織をもっとPRすべき。
- ポイ捨てなど身近なことから気をつける。
- 空き家等を利用して子ども達や高齢者の集う憩いの場づくりをして交流を図る。
- 西脇に来られたらぜひ連れて行ってあげたいと思える自慢の場所がほしい。
- ウォーキングブームなので、河川敷、神社間など距離を書いて立て札などがあれば、目的を持って歩く人が増え、健康増進につながると思う。
- 四季を通じての緑化推進 花の咲き乱れる美しいまちづくり（空き地を利用したシンボリックなフラワーガーデンや花畑でまちを飾って特徴を持たせる。）

### 問17 新たにチャレンジすべきもの

- ①農産物や樹木・竹などを使って名産品を創り、販売する。
- ②企業誘致による雇用の確保
- ③電車・バスなど交通手段の充実
- ④若い世代をターゲットにした新たな住宅地開発を行う。
- 子ども連れで遊べる公園や児童館をつくるべき。
- 道路の改善（宅地開発が盛んなのに対し、道路の改善がされていない。）
- 河川で安全に楽しめる場づくり。（河川整備もいはいけれど、川と親しんでいる姿が少なすぎるように思う。）
- ショッピングモール（市民特権をつけるなどサービスを増やす。）
- お年寄りの集いの場をつくり、そこで、思いの作品を作り、名産品として売り、お小遣いがもらえるようにしてあげて欲しいです。
- 街灯を増やす。
- きれいで美しいまちにするため、みんなでクリーンキャンペーンを行う。
- 知らない近所の人が多いので、地域の人との交流
- 地区の一体感を感じることでできるイベント（大人から子どもまで参加し楽しめるもの。）
- 伝統行事のアピール（他の地域にも）
- 地域情報誌（ホームページを含む）の発行
- 空き家が多いので、何かに活用できればと思う。田畑をなくしアパートを建てる必要はないと思う。
- 人気アイドルがコンサートできるようなコンサートホールをつくる。

問20 重春地区がどのようなまちであったらよいと思いますか？  
また、どのようなまちづくりを進めるべきだと思いますか？

- 自然や緑を大切にしながら子どもや高齢者が安心して暮らせる地域づくり。
- 地域住民と子ども、高齢者との垣根のない連帯感のあるまちづくり。
- 成人をむかえた若年層が大阪や神戸など都市へ出て行ってしまう傾向が強いので、「西脇に住みたい」と思えるようなまちになればいいと思います。
- 野村地区を別に考える中で、南北に分かれている重春地区という単位だけで、まちづくりを考えていくことは難しい。特に、人口が多い町が半数を占めるため、地区としてのまとまりよりも集落（大字）単位でのまとまりの方があるので、地区としての連帯感や意識を醸成していく事業や取組が必要ではないかと考える。（野村地区との連携を含めて）
- 交通機関の充実 電車などを増やして、大阪方面への通勤通学を可能にする。新幹線を通してほしい。通勤するに当たって電車が不便なので電車の便を増やしてほしい。大阪方向へ直通の電車をつくってほしい。
- 安心して生活できる治安のよいまちづくり。（夜はまちをできるだけ明るく街灯をつけて不審者等をなくしてほしい。小学校への行き帰りは危ないので、見まわりを強化してほしい。）
- 子どもがいるのですが、とても育てやすいといえる環境ではない。近所に子どもが少ない、高齢化している。子どもを遊ばせる場所がない。子どもが集まっている場所がない。子どもを車に乗せて播磨中央公園に行くような日々 保育料が高い、病院が少ない（特に皮膚科は1件もない。）、野村から板波へ向かって歩道が狭く、歩道が1段上がっていることもない。
- 家族が少なくなってきたので、老後の不安が大きいのと思われまます。町医者といわれる医院が、休業されたままなので、閉院になっている医院を使って開業されることを一番願っています。第一に内科ができればよいと思います。
- 老人が増えることによって、介護の必要な方に対して十分な介護が受けられない時が出てくると思います。また、地域の人々の助けによって、気にかけていくということに力を入れていったらどうでしょう。（市や役員だけに頼らず、お互い遠くの親戚よりもご近所といったふうに。）
- 高齢者がますます多くなるので、寝たきりに一人でもさせないような活動、今元気な70歳位から公民館などに集まって週一回体操をするなどしたら医療費負担も減らせると思う。“寝たきりがいない町”も大きな魅力になると思う。
- 高齢化は時の流れ、その方々の能力や経験を活かすこともまちづくりに必要ではないでしょうか。どこの、だれがどんな能力や経験を持っておられるか公開して活かす方策を考えていただければと思います。
- コミセンのことが話題になっていますが、夕張みたいに“ほこ物”はもうありません。集まる場所は今ある公民館・マナビータなどを利用すればいい。コミセンまで歩いていけるならいいけれど、どうせ車で行かねばならないのだから、税金の無駄遣いは絶対やめてほしい。
- 子どもたちが安心して外で遊ぶことができ、また、遊びの場所（公園・グラウンド等）が充実していただければいいと思います。
- 若者にとってもお年寄りにとってもいこいの場となるような場所
- 重春地区には自然があり、都会で暮らすのとはかわらない便利さがあり、両方兼ね備えたバランスのよい町だと思います。心豊かな人を育てる環境がそろっていると思います。立派な施設があれば皆が幸せになれるとは限りません。
- 重春地区は、地区によって地域差がありすぎる。調整区域等不公平な法律によって、不当に縛られている側面があり怠慢である。

- 緑豊かでゆっくりくつろげる空間があり、音楽ホールなど大きなコンサートとか人とかを呼べる場所があったらいいと思います。
- 西脇市駅周辺をもっと活気あるようにする。売店もなく不便
- まちを安心して歩ける交通の整理された道路が増えることを望みます。歩きたくなるまちなみや、ちょっと水筒のお茶を腰掛けて飲みたくなるような空気のよい気持ちのいい場所を、買い物の途中ぐらいの間隔に配置してもらえるとうれしい。現在は車で移動の人には便利な場所に点在しているが、年輩者が石垣などに腰掛けて休憩していたりするのを見かけると、もう少し、安全で、交流もしやすい公共の庭か、ベンチのような場所がもっとあればいいと思います。
- 働く場・機会の確保 新しい産業の創出
- 地場産業の奨励…“布ぞうり”の作成、販売 同じ隣保の婦人が播州織の端切れを利用し、“布ぞうり”を作り神戸のデパートで出品販売され人気も博してられるとのこと。
- 道端などにゴミのないきれいなまち。よく犬の散歩をしている人を見かけるのですが、糞がよく落ちています。犬の糞を必ず持ち帰るようにお願いしたいです。マナーが悪いです。
- 近年、重春地区もアパート・スーパー等の建設が目立っていますが、それによって田畑や樹木林やまちの風景等がどんどん変わってしまいました。特に田園風景が一変してしまったような気がします。どこかで歯止めが必要だと思います。このままでは重春地区から緑が消えてしまいます。また、街並みのバラバラな景観を奇妙に感じています。
- 整備されて住みよいまちが変わっていくのは、大歓迎ですが、歴史であるとか、古きよきもの、伝えておきたいことなどを解りやすいイラスト・マップのようなものを作って残してほしいと思います。私自身、重春地区にどんなものがあるかよくわかっていません。まず、地域のことをよく知ることからはじめ、みんなに情報を発信していくというのは、どうでしょうか。
- 住民が困ったときには、住民同士が助け合えるようなまちをつくってほしいと思う。また、そのようなまちをつくる為に、住民が参加することのできるスポーツ活動やコミュニティ活動を行っていくべきだと思う。また、企業等もこの地区の住民たちと触れ合う機会をつくったりして、親睦を深めれば、皆が住みよいまちに発展すると思う。
- 最近、小学生（六年生）の朝のあいさつが非常に気持ちよく感じます。地域全体であいさつの掛け合い運動を進められたら良いと思います。
- 小さい子どもをもつ者としては、安心して遊べる様な場所がなく、アパート暮らしなので近所づきあいもないので、家にこもることが多いです。また、廃品回収のお知らせもアパートにはしてくれないので、不便です。
- 各町内では盆踊りや秋祭り、運動会などの行事はありますが、重春地区が一つになって行う行事が何もないので、重春地区でまちづくりをしようと思っても、一つの方向に向かわないと思う。よって、重春地区が一つになれる一大イベントを何か一つでも行ってみたいかどうか。
- 町と町の情報交換がもっとあればいいと思います。お互いに他の町ではどんなことが行われているか知れば、もっと交流できるのではと思います。
- 地域の広報がまれに来て場所の地図表記がないので、参加したくてもできないのが現状です。せめて、公民館、体育館、〇〇神社など、公的な建物のある場所の地図表記は希望します。
  - ・道路に標識があればもっと参加できるのではないのでしょうか。
  - ・古くからずっと住んでいる方はわかっていても転居者にはまったくわからないので、住民みんなにわかるようなやさしいまちづくり、広報づくり希望です。
- 西脇市駅までのSL列車を走らせる。
- 重春ゆめづくり委員会というものがどのような活動をされているのかよくわからないので、もっとPRすべき。

## 第3章 重春地区の将来像とまちづくりの基本目標

### 1. 重春地区のまちづくりの将来像

重春ゆめづくり委員会では、重春地区のまちづくりの将来像として、以下の将来イメージを設定しました。

### 重春地区の『将来イメージ』

**私たちのまち重春は、**

豊かな田園、ありのままの自然の中で、産業基盤が安定し、若者が夢を持って生活でき、子どももいきいき育ち、住みやすく、伝統文化を守りながら、誰もが安心して暮らせるまち

**をめざします！**

## 2. まちづくりの基本目標

重春ゆめづくり委員会では、重春地区のまちづくりの方向性として、以下のテーマと基本目標を設定しました。

### 重春地区の『まちづくりの方向性(テーマ)』

#### 1. 生活環境

テーマ：生活の利便性の向上と生活環境の整備・充実、  
住みごこちのよいまちづくり

**目標：河川整備の推進、道路・交通問題の解消**

#### 2. 自然環境

テーマ：ありのままの自然に親しみ、守り育む、  
豊かな自然を守る

**目標：身近な自然を大切にする活動を進める**

#### 3. 産業・雇用

テーマ：産業基盤が安定し、若者が夢をもって生活できる、  
産業の振興をはかる

**目標：働き場所の確保、産業立地の推進、若者の働く場の確保、  
規制の見直し**

#### 4. 歴史・文化

テーマ：伝統文化を守り、継承する 知る、学ぶ、参加する

**目標：伝統行事・文化の継承、地域全体でのイベントの開催、  
伝統行事等を知る**

## 5. 社会・コミュニティ・教育

テーマ：交流の場づくり、世代を越えた交流を図る

**目標：コミュニティセンターの建設**

## 6. 福祉

テーマ：子どもから高齢者にまでやさしいまち、  
安心して過ごせる環境づくり

**目標：子育て支援と高齢者福祉の充実**

## 第4章 まちづくりの取り組み内容とその進め方

### 1. まちづくりの取り組み内容

重春ゆめづくり委員会では、これまで会議（ワークショップ）の中で、将来像及びまちづくりの目標の実現に向けて重春地区として取り組むべき事項について、（１）生活環境、（２）自然環境、（３）産業・雇用、（４）歴史・文化、（５）社会・コミュニティ・教育、（６）福祉の６つの視点から考え、共有してきました。そして、次のようなハード、ソフトのまちづくりに取り組んでいきます。

#### （１）生活環境

	取り組むべき事項
ハード事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが気軽に集まり年代を越えた場所（交流）の確保</li> <li>・図書館の整備</li> <li>・重春地区のコミュニティセンターの設置</li> <li>・ふれあいの場の確保と利用の方法</li> <li>・道路整備の推進、歩道の新設</li> <li>・土地の確保、予算の確保</li> <li>・歩道を全てつなぐ（統一化）</li> <li>・歩道を色分けして歩いてみたい道にする</li> <li>・散歩、ランニング専用道</li> <li>・散歩道の整備と確保（コースは実際に歩いてみてから決める）</li> <li>・道路の整備（神戸から交通アクセス）</li> <li>・市道、生活道路の整備</li> <li>・交通安全に向けた歩道、信号機の設置を進める</li> <li>・交通基盤の整備 平野から高田井への道路、アピカから西脇大橋への道路整備（歩道の道路化）</li> <li>・生活環境を保全するために街灯を設置する（防犯）（気持ちを穏やかにする色）</li> <li>・旭ヶ丘住宅の建替（現在の旭ヶ丘住宅は老朽化が進み、現地での建替は無理 新たな住宅用地の確保が必要）</li> <li>・災害に強い安心安全のまちづくり</li> <li>・河川の広場づくり、釣り広場などの整備</li> <li>・加古川に河川敷公園</li> <li>・河川的环境整備、草刈など</li> </ul>
ソフト事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいの場の確保として公民館をもっと利用する（お年寄りが気軽に集まっておしゃべりしたり小さい子どもを持つお母さんが集まったり）</li> <li>・水害対策としてゴムボートを各町に整備（配布）</li> <li>・地元住民の協力</li> <li>・休耕田利用</li> <li>・農地の荒廃防止</li> <li>・ベンチ必要</li> <li>・上の町から流れてきた水を、もっと利用する</li> <li>・防犯対策の推進</li> <li>・ごみ収集の有料化が不法投棄の拡大につながらない対策</li> </ul>

(2) 自然環境

	取り組むべき事項
ハード事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山・森林の保全</li> <li>・里山の保護、保全</li> <li>・植林をする(桜)</li> <li>・「自然を守り育む」 子どもを自然の中に取り込むために、里山の整備</li> <li>・加古川・野間川の堤防の保全について</li> <li>・谷川の水辺環境の保全</li> <li>・西脇市の玄関口としての整備を考える</li> <li>・CO2の評価</li> <li>・水系を新たに見直す</li> <li>・農地と森林を一体化させて自然を守る</li> <li>・重春地区のハイキング道路をもっと整備(皆で楽しくハイキングができる町)</li> </ul>
ソフト事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル日本一の地区</li> <li>・小さな川の清掃活動を小さな集まりから始める</li> <li>・ホテルの復活</li> <li>・休耕田で草が伸び放題の場所をコスモス畑、ひまわり畑に</li> <li>・里山散策(三世代で)</li> </ul>

(3) 産業・雇用

	取り組むべき事項
ハード事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな産業の導入</li> <li>・織物だけではなく他の産業を誘致する</li> <li>・新規の産業の誘致</li> <li>・販売体系の再検討</li> <li>・地方に適切な産業の再検討</li> <li>・農業用基盤の多面的機能の発揮</li> <li>・産業立地基盤の整備を推進するべき</li> <li>・農業用排水路の自然護岸化</li> </ul>
ソフト事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業の担い手の確保</li> <li>・高齢化による農地の荒廃防止</li> <li>・休耕田をいかした町</li> <li>・若者の農業者の育成、補助する組織づくり</li> <li>・農業組織の育成</li> <li>・農地の有効利用</li> <li>・営農の補助ができる地域をつくる</li> <li>・地域のレベルアップ(技術的)をはかる</li> <li>・特産品の普及</li> <li>・特産品の育成</li> <li>・田空での登録による情報発信</li> <li>・新起業家への支援</li> <li>・自主運営によるコミュニティビジネスへの取り組み</li> <li>・市内居住者を優先的に転職させてもらう</li> <li>・若者が地元で働ける場がほしい</li> <li>・谷町は面積の約半分が農地であり、調整区域になっているため中途半端 法律・条例等への対応</li> <li>・他市町民と交流できる農業の仕掛け作り(農作物の特徴を生かす)</li> </ul>

(4) 歴史・文化

	取り組むべき事項
ハード事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・織物博物館の建設</li> <li>・矢筈歴史文化公園の整備</li> </ul>
ソフト事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表する場所(文化祭、発表会など)</li> <li>・伝統文化の継承する指導的な人材の確保</li> <li>・伝統の祭りへの若者の参加の増大</li> <li>・観光資源のPR</li> <li>・地区伝統行事を交流の場として活用していく</li> <li>・地区一体になって盆踊りをする(旧重春小のグラウンドを駐車場、上で盆踊り)</li> <li>・伝統行事の継承と掘り起こし</li> <li>・色々なイベントの企画と実施</li> <li>・合同体育祭、合同文化祭の実施</li> <li>・各町に於ける各種団体の相互交流</li> </ul>

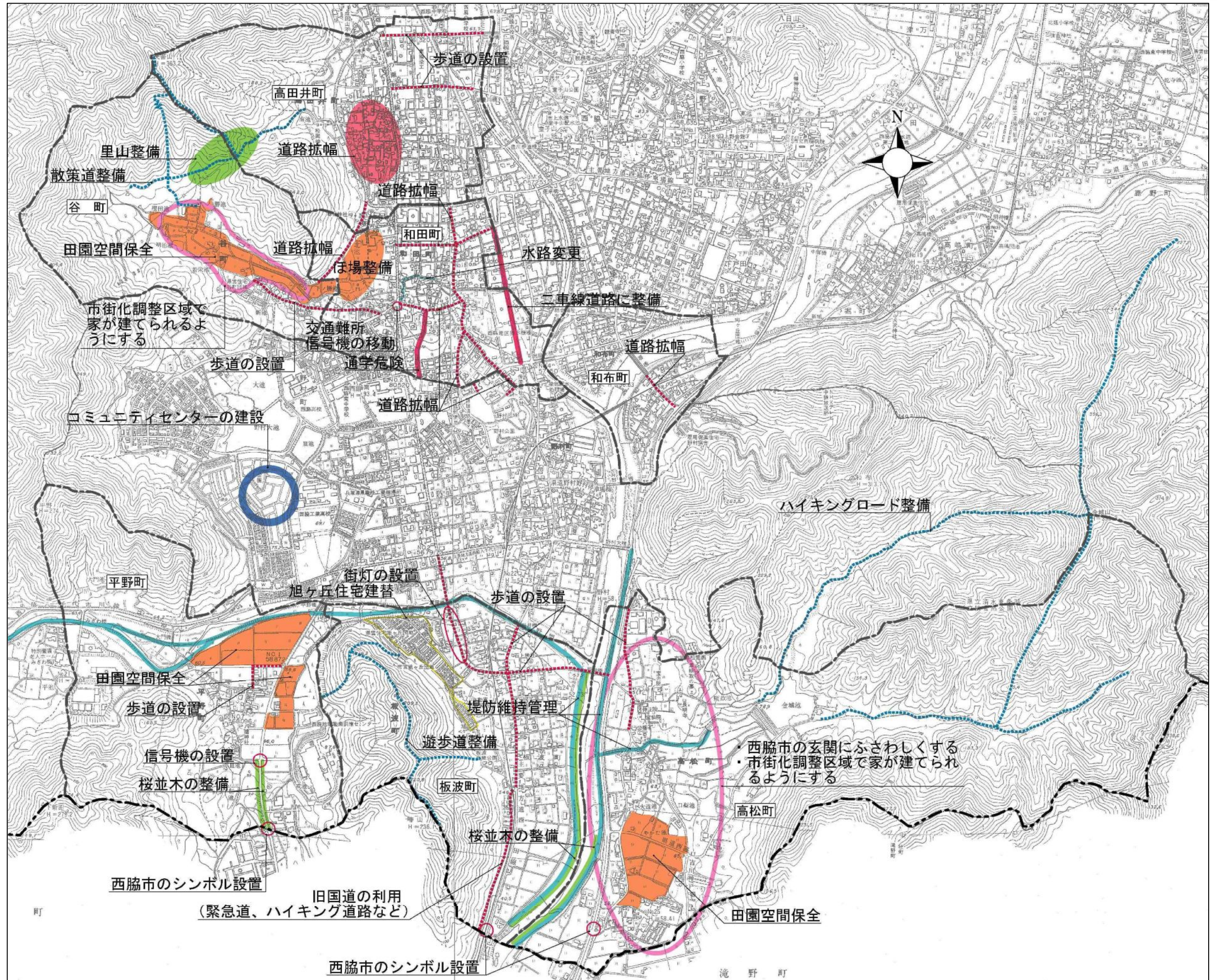
(5) 社会・コミュニティ・教育

	取り組むべき事項
ハード事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化ホール（子どもと成人、高齢者が集える交流施設）の整備</li> <li>・集会などが行える拠点施設の整備 ・重春地区コミュニティセンターの建設</li> <li>・公民館の整備（谷町） コミュニティセンターの施設としては、やや充実されていない</li> </ul>
ソフト事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然に声掛けのできる人間関係に温かみの感じられるまちづくり</li> <li>・広報活動の活発化 我が町のニュースを広報しよう ・ケーブルテレビ（有線）</li> <li>・女性団体の育成 ・ボランティア活動の紹介と相談窓口の設置</li> <li>・伝統行事の継承 秋祭り（あばれ太鼓など） ・伝統・文化の推進（若い人の育成）</li> <li>・地区の交流事業（文化祭など） ・誇りに思える伝統文化を育てる（祭りなど）</li> <li>・子どもを教育する前に、子どもの親の教育をする</li> <li>・自然の中で遊ばせることが一番の教育 これを親に教える</li> <li>・「自然を守り育む」 子どもが自然の中に入って行くために大人が子どもを指導できるようにする 勉強しよう ・土曜ふれあい、学校の開放</li> <li>・野村地区と一緒に行事などを行う ・不審者情報、災害情報を広く伝えるため、登録者を増やす</li> <li>・蒸気機関車の走るまちづくり ・自分たちのまちを知ってもらう行事、ハイキング等を行う</li> </ul>

(6) 福祉

	取り組むべき事項
ハード事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のコミュニケーションの場として空き家を活用する</li> <li>・しばざくら号をもっと便利に</li> </ul>
ソフト事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら進んで体力づくり、介護予防の取り組みに参加する</li> <li>・民生委員を中心に近所の見守りを進める</li> <li>・「ふれあいの会」の活用</li> <li>・子どもの見守り隊活動の実施</li> <li>・散歩時間を子どもの登下校時間にあわせる運動</li> <li>・元気で長生きするためのPRと実践活動の支援</li> <li>・福祉のまちづくりをPRする</li> <li>・転入者に市の紹介パンフを渡す</li> <li>・アパート住まいの人とのふれあいのきっかけづくり</li> <li>・子どもからお年寄りまで参加できる行事を開く（ふれあいサロン、いきいきサロン、熟年会の卓球やグランドゴルフ、スポーツ21活動、高齢者の特技を活かした子どもとのふれあい 等々）</li> <li>・各種団体による連携</li> <li>・老人会の若手委員会の活用</li> <li>・若い人にリーダーを担ってもらう</li> <li>・子育てする人が集まり、勉強する機会を設ける</li> <li>・三世帯同居を見直し、進める</li> <li>・安心して子どもを産み育てることができる環境づくり</li> <li>・市民の要望を的確にとらえた福祉のまちづくり</li> <li>・行政が男女の出会いの機会をつくる</li> <li>・自主運営によるコミュニティビジネスへの取り組み</li> </ul>

【重春地区の  
まちづくり計画図】



## 2. まちづくりの役割と取り組み時期

まちづくりの取り組みは、地域の住民、行政、地域で活動する事業者や団体などが、それぞれ協力しながら取り組むことが大切です。また、すべての取り組みを一度に進めることは難しいものです。さらに重春地区にとっては、野村地区との関係を考え、協働で取り組むべきものは協働で取り組む、連携して取り組むことがたいへん重要です。

そこで重春ゆめづくり委員会では、検討してきた様々なまちづくりの取り組みを、それに関わる全ての人、団体が、「**だれが（主体）**」「**いつ（時期）**」「**何を（内容）**」取り組むのかを整理し、今後の実践に繋げることとしました。次頁以降には、視点ごとの取り組み主体、時期、内容の検討結果を整理しています。

今後は、この整理した結果をもとに、それぞれの取り組みごとに実行計画・活動計画を立て、スタートさせていきます。

(1) 生活環境

		短期	中期	長期	野村地区と関連する事項
		重春地区で取り組むべき事項			
ハード事業	地域住民	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川環境整備、草刈など</li> <li>防犯対策の推進（街灯等）</li> <li>誰もが気軽に集まり年代を越えた場所（交流）の確保</li> </ul>	—	—	—
	協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいの場の確保と利用の方法</li> <li>生活環境を保全するために街灯を設置する（防犯）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川の広場づくり、釣り広場などの整備</li> <li>加古川に河川敷公園</li> </ul>	—	—
	行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地の確保、予算の確保</li> <li>交通安全に向けた歩道、信号機の設置に注力する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害に強い安心安全のまちづくり</li> <li>市道、生活道路の整備</li> <li>図書館の整備</li> <li>道路整備の推進、歩道の新設</li> <li>散歩道の整備と確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路の整備（神戸から交通アクセス）</li> <li>歩道を全てつなぐ（統一化）</li> <li>歩道を色分けして歩いてみたい道にする</li> <li>交通基盤の整備、平野から高田井への道路整備、アピカから西脇大橋への道路整備</li> <li>旭ヶ丘住宅の建替（新たな住宅用地の確保が必要）</li> <li>散歩、ランニング専用道</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区コミュニティセンター（地域拠点）の設置</li> </ul>
ソフト事業	地域住民	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいの場の確保として公民館をもっと利用する（お年寄りが気軽に集まっておしゃべりしたり小さい子どもを持つお母さんが集まったり）</li> <li>休耕田利用、農地の荒廃防止</li> <li>地元住民の協力</li> </ul>	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>上の町から流れてきた水を、もっと利用する</li> </ul>
	協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベンチ必要</li> <li>ごみ収集の有料化が不法投棄の拡大につながらない対策</li> </ul>	—	—	—
	行政		<ul style="list-style-type: none"> <li>水害対策としてゴムボートを各町に整備（配布）</li> </ul>	—	—

(2) 自然環境

		短期	中期	長期	野村地区と関連する事項
		重春地区で取り組むべき事項			
ハード事業	地域住民	—	—	—	—
	協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>重春地区のハイキング道路をもっと整備（皆で楽しくハイキングができる町）</li> <li>西脇市の玄関口としての整備を考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地と森林を一体化させて自然を守る</li> <li>CO2 の評価（排出権の取引による収入確保）</li> <li>農業用基盤の多面的機能の発揮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>里山、森林の保護、保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>植林をする（桜）</li> </ul>
	行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自然を守り育む」 子どもを自然の中に取り込むために、里山の整備</li> <li>水系を新たに見直す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>谷川の水辺環境の保全</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>加古川・野間川の堤防の保全</li> </ul>
ソフト事業	地域住民	<ul style="list-style-type: none"> <li>里山散策（三世代で）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>休耕田で草が伸び放題の場所をコスモス畑、ひまわり畑に</li> <li>ホテルの復活</li> </ul>	—	—
	協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクル日本一の地区</li> <li>小さな川の清掃活動を小さな集まりから始める</li> </ul>	—	—	—
	行政	—	—	—	—

(3) 産業・雇用

		短期	中期	長期	野村地区と関連する事項
		重春地区で取り組むべき事項			
ハード事業	地域住民	—	—	—	—
	協働	・販売体系の再検討	・農業用排水路の自然護岸化		—
	行政	・地方に適切な産業の再検討 ・新規産業の誘致 ・新たな産業の導入 ・織物だけではなく他の産業を誘致する ・産業立地基盤の整備を推進	—		—
ソフト事業	地域住民	・高齢化による農地の荒廃防止 ・休耕田をいかした町	・特産品の普及、育成	—	—
	協働	・田空での登録による情報発信 ・農業の担い手の確保 ・農地の有効利用 ・農業組織の育成	・地域のレベルアップ（技術的）をはかる ・市内居住者を優先的に転職させてもらう ・自主運営によるコミュニティビジネスへの取り組み	—	—
	行政	・営農の補助ができる地域をつくる ・若者の農業者の育成、補助する組織づくり ・新起業家への支援 ・若者が地元で働ける場の確保	—	・他市町民と交流できる農業の仕掛け作り（農作物の特徴を生かす） ・調整区域における法律・条例等の対応	—

(4) 歴史・文化

		短期	中期	長期	野村地区と関連する事項
		重春地区で取り組むべき事項			
ハード事業	地域住民	—	—	—	—
	協働	・ 矢筈歴史文化公園の整備 ・ 観光案内板の設置 ・ 歴史案内板、説明板の設置	—	—	—
	行政	—	—	・ 織物博物館の建設	—
ソフト事業	地域住民	・ 伝統の祭りへの若者の参加増大 ・ 伝統行事の継承と掘り起こし、 色々なイベントの企画と実施	・ 伝統文化の継承する 指導的な人材の確保	—	・ 発表する場所（文化祭、発表会など） ・ 地区伝統行事の交流の場としての活用 ・ 合同体育祭、合同文化祭の実施
	協働	・ 各町における各種団体の相互交流	・ 地区一体になって盆踊りをする（旧重春小のグラウンドを駐車場、上で盆踊り）	—	—
	行政	・ 観光資源のPR	—	—	—

(5) 社会・コミュニティ・教育

		短期	中期	長期	野村地区と関連する事項
		重春地区で取り組むべき事項			
ハード事業	地域住民	—	—	—	—
	協働	・地区コミュニティセンター（地域拠点）の整備内容の検討	・公民館の整備（谷町）	—	・地区コミュニティセンター（地域拠点）の整備内容の検討
	行政	・文化ホール（子どもと成人、高齢者が集える交流施設）の整備 ・集会などが行える拠点施設の整備	・地区コミュニティセンター（地域拠点）の建設	・ケーブルテレビ（有線）	・地区コミュニティセンター（地域拠点）の建設
ソフト事業	地域住民	・自然に声掛けのできる人間関係に温かみの感じられるまちづくり ・広報活動の活発化、我が町のニュースを広報しよう ・伝統行事の継承、秋祭り（あばれ太鼓など）、誇りに思える伝統文化を育てる（祭りなど）	・伝統・文化の推進（若者の育成） ・子どもを教育する前に、子どもの親の教育をする ・自然の中で遊ばせることが一番の教育 これを親に教える ・「自然を守り育てる」子どもが自然の中に入って行くために大人が子どもを指導できるようにする 勉強しよう	—	・地区の交流事業（文化祭など） ・伝統行事の継承、秋祭り（あばれ太鼓など）、誇りに思える伝統文化を育てる（祭りなど）
	協働	・女性団体の育成	・自主運営によるコミュニティビジネスへの取り組み	—	—
	行政	—	—	・蒸気機関車の走るまちづくり	・蒸気機関車の走るまちづくり

(6) 福祉

		短期	中期	長期	野村地区と関連する事項
		重春地区で取り組むべき事項			
ハード事業	地域住民	—	・地域のコミュニケーションの場として空き家を活用	—	—
	協働	—	—	—	—
	行政	・しばざくら号をもっと便利に、活用の検討 ・子育てする人が集まり、勉強する機会を設ける	・安心して子どもを産み育てることができ環境づくり ・市民の要望を的確にとらえた福祉のまちづくり	—	—
ソフト事業	地域住民	・民生委員を中心に近所の見守りを進める ・子どもの見守り隊活動の実施、散歩時間を子どもの登下校時間に合わせる運動 ・各種団体による連携	・自ら進んで体力づくり、介護予防の取り組みに参加 ・「ふれあいの会」の活用 ・若い人にリーダーを担ってもらう ・老人会の若手委員会の活用	—	—
	協働	・子どもからお年寄りまで参加できる行事を開く ・元気で長生きするためのPRと実践活動の支援 ・福祉のまちづくりをPR	・アパート住まいの人とのふれあいのきっかけづくり	—	—
	行政	・転入者に市の紹介パンフを渡す ・行政が男女の出会いの機会をつくる	・三世帯同居を見直し、進める	—	—

### 3. 率先して取り組む内容（リーディングプロジェクト）

重春ゆめづくり委員会では、検討してきた取り組み内容のうち、「**できることから**」実践していくために、次の7つの取り組みをリーディングプロジェクトとして選定し、平成20年度より順次取り組みをスタートさせていきます。

そして、これらのリーディングプロジェクトの実施を通じて、さらに次の取り組みへと繋げていくものとします。

#### (1) 地区コミュニティセンター（地域拠点）の整備内容の検討 ～コミュニティの再生に向けて

重春地区の喫緊の課題として、地区全体で交流・活動する拠点が十分ではないということがあります。そのような中で、新たなコミュニティセンター建設の話も出ています。

そこで重春地区では、このコミュニティセンター建設に向けて、地域住民や各種団体、事業者、行政とともに、具体的な整備内容の検討を進めていきます。

そして、この取り組みでは、利用方法や管理運営方法等も併せて検討していく中で、交流事業の実施やコミュニティの再生などを具体化させるとともに、まちづくり活動を広げるための住民意識の変化も目指します。

##### 繋がっていく取り組み（関連する取り組み、相乗効果）

⇒（ハード面）交流施設の整備、拠点施設の整備、誰もが気軽に集まり年代を越えた交流の場の確保  
図書館の整備

（ソフト面）文化祭の実施（地区の交流事業）、各種団体の相互交流、色々なイベントの企画と実施、伝統行事の継承、女性団体の育成、子育てする人の勉強機会の確保

#### (2) 生活環境を保全するための街灯の設置 ～安全安心な地区の形成に向けて

重春地区の将来像である「安心して暮らせるまち」を実現するためには、まちを明るくすることが大切であると考えます。そして、これによって防犯防災の強化にも繋げていきます。

そこで重春地区では、生活環境を保全するための街灯の設置を積極的に進めていきます。また、子どもへの声かけ運動なども併せて進めることで、まちを明るくする取り組みの相乗効果を高めていきます。

##### 繋がっていく取り組み（関連する取り組み、相乗効果）

⇒（ハード面）防犯対策の推進（街灯・防犯灯の設置など）

（ソフト面）自然に声掛けのできる人間関係に温かみの感じられるまちづくり、子どもの見守り隊活動の実施、散歩時間を子どもの登下校時間にあわせる運動

### (3) 重春ハイキングロードの整備検討 ～世代間交流の推進と里山保全に向けて

重春地区では里山林整備などの形で、既に散策道の整備などが進みつつあります。

そこで重春地区では、このような取り組みを地区全体に広げ、地区の交流の場としても活用していくために、重春ハイキングロードの整備検討を進めていきます。

さらに、里山や森林の保全、保護（適正な維持管理、自然環境の保全、地球温暖化対策など）や、世代を越えた交流活動（ハイキングイベント）などにも繋げていきます。

#### 繋がっていく取り組み（関連する取り組み、相乗効果）

- ⇒（ハード面）散歩道の整備と確保、散歩・ランニング専用道、歩道を全てつなぐ（統一化）、里山・森林の保護・保全
- （ソフト面）里山散策（三世代で）、自然の中で遊ばせる子どもたちの教育、自然を守り育む

### (4) 西脇市の玄関口としての整備検討 ～西脇の顔、重春の顔づくりに向けて

重春地区は、西脇市の南の玄関口に位置しています。そして、地区には基幹道路である国道 175 号や加古川も南北に縦断しています。

そこで重春地区では、国道沿道や加古川沿川を中心に、西脇市の玄関口としての整備について具体的な内容検討を進めていきます。

#### 繋がっていく取り組み（関連する取り組み、相乗効果）

- ⇒（ハード面）河川的环境整備、加古川・野間川の堤防の保全、植樹・植林（桜）
- （ソフト面）観光資源のPR

### (5) 農地の有効利用の推進 ～休耕田対策と自然環境保全に向けて

重春地区には、南部（高松町、板波町、平野町）を中心に農地が広がっています。しかし、担い手の高齢化などの影響から休耕田、耕作放棄地も増えつつあります。

そこで重春地区では、農地の有効利用を積極的に進めるとともに、農業用基盤の多面的機能の発揮の中で、農地の荒廃防止やホタルの復活等自然環境の保全、景観形成（美しいむらづくり）を進めていきます。

さらには、耕作放棄地を活用した菜の花栽培などを通じて地球温暖化対策（BDFへの転換）にも貢献していきます。

#### 繋がっていく取り組み（関連する取り組み、相乗効果）

- ⇒（ハード面）農業用排水路の自然護岸化、農業用基盤の多面的機能の発揮
- （ソフト面）休耕田の利用・農地の荒廃防止、休耕田で草が伸び放題の場所をコスモス・ひまわり畑にする

### (6) 観光資源のPR、歴史文化公園の整備検討 ～地域の歴史文化の継承に向けて

重春地区には、西脇を代表する歴史・文化資源が数多く残っています。また、伝統芸能も継承されています。

そこで重春地区では、この由緒ある地域の歴史文化を次の世代にも引き継いでいくために、観光資源としてのPRを積極的に進め、これらに光を当てた活動を進めるとともに、歴史文化を伝える場の整備についても検討していきます。

#### 繋がっていく取り組み（関連する取り組み、相乗効果）

- ⇒（ハード面）観光案内板の設置、歴史案内板・説明板の設置
- （ソフト面）伝統行事の継承と掘り起こし、誇りに思える伝統文化を育てる

### (7) しばざくら号の活用検討 ～地域の“足”の確保に向けて

少子高齢化が全国的にも進む昨今、重春地区も例外ではありません。今後、さらに高齢化が進むとされます。また、地域には市の中心部と結ぶ公共交通機関が十分ではありません。

そこで重春地区では、地域の足を確保し、車の利用ができなくなった場合にも活動範囲が狭くならないことを目指して、しばざくら号の活用方策を検討し、提案していきます。

また、将来的には地域主体で運営するコミュニティバスやコミュニティタクシーなどの設立検討（コミュニティビジネスの展開）にも繋げていきます。

#### 繋がっていく取り組み（関連する取り組み、相乗効果）

- ⇒（ハード面）コミュニティバス・コミュニティタクシーの検討
- （ソフト面）自主運営によるコミュニティビジネスへの取り組み

# 第5章 今後の重春のまちづくりに向けて

## 1. 推進体制づくり

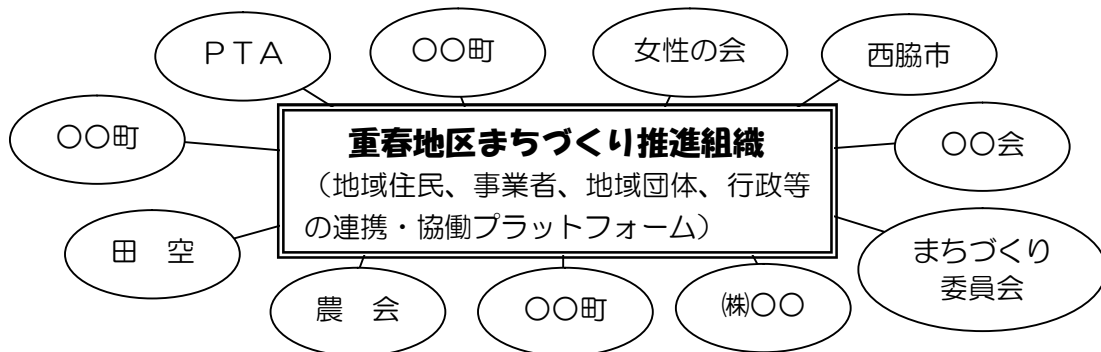
### ～ 自主的、自律的なまちづくりの輪を地域全体に広げる ～ 重春のまちづくりを展開するための新たな体制づくりを進めます！

重春地区まちづくり計画の検討にあたっては、「重春ゆめづくり委員会」を設置し、地域住民や地域で活動する事業者、団体が取り組みの中心となる地域主体のまちづくりについて検討してきました。

検討してきた重春地区の将来像が実現されるまでには、多くの人々の協力と息の長い取り組みが必要であり、自主的なまちづくりの取り組みを展開するためには、多くの人々が共通の問題意識と夢を持って取り組みに参加し、自らの創意工夫によって特色ある活動を実現することが求められます。

そして、重春地区まちづくり計画を地域のものとして大切にし、将来像に描いた真に“住み良い”重春地区を創っていくためには、自主的・自立的に、まちづくりの輪を広げる役割を担う体制をつくり、まちづくり運動として進めていくことが重要です。

本地区では、地域住民や事業者、地域団体、行政等が連携しながら様々なまちづくり活動を推進し、展開していく母体として、重春地区の各町からの有志や地域の事業者、学校等の団体の代表で構成する新たなまちづくり推進組織（プラットフォーム）を設置するものとします。



## 2. 全ての主体の参画と協働によるまちづくりを実現するために

地区のまちづくりを成功させるためには、自助・互助・共助・公助の考え方を、まちづくりに関わる全ての人々（地元住民や事業者、学校等の団体、行政など）が、しっかりと認識し取り組む必要があります。

まちづくりは、よく祭りに例えられます。私たちの住む地域やまちは、云わば神輿（みこし）であり、全ての地域住民はその担ぎ手です。都市基盤や公共施設等の整備は、いわば神輿の骨組みの製作です。それを上手く活用し、自分たちの生活にあった装飾（活動を考えたり、呼びかけたり）を施すのは重春ゆめづくり委員会を始めとする地域で活動する団体や事業者です。そして、その神輿（地域）の担ぎ手となって、動かし、演じ、支えるのが地域住民全体です。

まちづくりは、都市基盤や公共施設の整備だけで実現されるものではなく、地域の様々な取り組みとの相乗効果によって実現されるものであるとの認識のもと、全ての主体が積極的に関わっていくことが大切です。

重春地区においても、この重春地区まちづくり計画による様々な活動が契機となって、新たなまちづくりの推進体制の下、地域住民や事業者、団体、行政が一丸となって地域を支え合い、賑わいのある重春地区として育まれていくことを目指します。